

H3C WX1804H_WX1810H
_WX1820H_WX1840H-CMW710-R5439P05
リリースノート

New H3C Technologies Co.,Ltd.technologies co.,Ltd.の書面による事前の同意なしに、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。

H3C

内容

はじめに	1
WX1810H.....	1
WX1820H.....	1
WX1840H.....	1
WX1804H.....	2
WX1810H.....	2
WX1820H.....	2
WX1840H.....	3
ハードウェアとソフトウェアの互換性マトリックス.....	3
WX1804H.....	3
WX1810H.....	5
WX1820H.....	6
WX1840H.....	7
Fit AP互換性テーブル	8
アップグレードの制限とガイドライン	13
ハードウェア機能の更新	13
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-R5439P05	13
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-R5439P01	13
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-R5437P01	13
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-R5435P02	14
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-E5430P03	14
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-E5427	14
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM W710-E5426P02	14
ソフトウェア機能とコマンドの更新	14
MIBアップデート	14
操作の変更.....	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R54 39P05の動作変更	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R54 39P01の動作変更	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R54 37P01の動作変更	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R54 35P02の動作変更	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R54 30P03の動作変更	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-E54 27の動作変更.....	15
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-E54 26P02の動作変更	15

制限事項と注意事項	16
未解決の問題と回避策	16
解決された問題のリスト	17
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	17
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	20
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	20
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	22
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	26
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	28
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H	30
テクニカル・サポート	30
付録A 機能リスト	1
ハードウェア機能	1
ソフトウェア機能	2
付録B ソフトウェアのアップグレード	11
ソフトウェアタイプ	11
制約事項とガイドライン	11
アップグレード方法	12
アップグレードの準備	12
CLIからのアップグレード	15
実行コンフィギュレーションの保存とストレージスペースの確認	15
デバイスへのイメージファイルのダウンロード	16
起動イメージファイルの指定	16
アップグレードを完了するためのデバイスのリブート	17
BootWareメニューからのアップグレード	18
実行中のコンフィギュレーションの保存とストレージデバイスのフォーマット	18
TFTP/FTPを使用したイーサネットポート経由のソフトウェアのアップグレード	20
BootWareメニューからファイルを管理する	23
すべてのファイルを表示する	24
システムソフトウェアイメージのタイプの変更	24
ファイルの削除	25
Xmodemを使用したコンソールポート経由のBootWareのアップグレード	27
ソフトウェアアップグレード障害の処理	29
付録C コンソールログインパスワード損出の処理	30
パスワード回復機能の無効化	30

コンソールログインパスワード損失の処理	31
パスワード回復機能設定の確認	31
Skip Current System Configurationオプションの使用.....	32
Skip Authentication for Console Loginオプションの使用	33
Restore to Factory Default Configurationオプションの使用.....	34

はじめに

このドキュメントでは、バージョンH3C WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R5439P05の機能、制限およびガイドライン、未解決の問題、および回避策について説明します。このバージョンをライブネットワークで使用する前に、設定をバックアップしてバージョンをテストし、ライブネットワークに影響するソフトウェアアップグレードを回避してください。

このドキュメントは、H3C WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R5439P05リリースノートと組み合わせて使用してください。(ソフトウェア機能の変更)

バージョン情報

バージョン番号

WX1804H

Comwareソフトウェア、バージョン7.1.064、リリース5439P01

注:このバージョン番号は、どのビューでもdisplay versionコマンドを使用して表示できます。注①を参照してください。

WX1810H

Comwareソフトウェア、バージョン7.1.064、リリース5439P01

注:このバージョン番号は、どのビューでもdisplay versionコマンドを使用して表示できます。注①を参照してください。

WX1820H

Comwareソフトウェア、バージョン7.1.064、リリース5439P01

注:このバージョン番号は、どのビューでもdisplay versionコマンドを使用して表示できます。注①を参照してください。

WX1840H

Comwareソフトウェア、バージョン7.1.064、リリース5439P05

注:このバージョン番号は、どのビューでもdisplay versionコマンドを使用して表示できます。注①を参照してください。

バージョン履歴

WX1804H

表 1WX1804H-PWRのバージョン履歴

バージョン番号	最終バージョン	リリース日	リリースタイプ	備考
H3C WX1804H-CMW710-R543 9P01	H3C WX1804H-CMW710 (R5435P02)	2020-12-09	リリースバージョン	なし
H3C WX1804H-CMW710-R543 5P02	H3C WX1804H-CMW710 (R5430P03)	2020-08-15	リリースバージョン	なし
H3C WX1804H-CMW710-R543 0P03	H3C WX1804H-CMW710 (E5427)	2020-05-10	リリースバージョン	なし
H3C WX1804H-CMW710-E542 7	H3C WX1804H-CMW710 (E5426P02)	2019-11-15	ESSバージョン	なし
H3C WX1804H-CMW710-E542 6P02	D029SPの最初 のリリース	2019-11-15	ESSバージョン	なし

WX1810H

表2 WX1810Hバージョン履歴

バージョン番号	最終バージョン	リリース日	リリースタイプ	備考
H3C WX1810H-CMW710-R543 9P01	H3C WX1810H-CMW710 (R5435P02)	2020-12-09	リリースバージョン	なし
H3C WX1810H-CMW710-R543 5P02	H3C WX1810H-CMW710 (R5430P02)	2020-08-15	リリースバージョン	なし
H3C WX1810H-CMW710-R543 0P02	H3C WX1810H-CMW710 (R5426P02)	2020-05-10	リリースバージョン	なし
H3C WX1810H-CMW710-R542 6P02	D029SPの最初 のリリース	2019-11-15	ESSバージョン	なし

WX1820H

表3 WX1820Hバージョン履歴

バージョン番号	最終バージョン	リリース日	リリースタイプ	備考
H3C WX1820H-CMW710-R543 9P01	H3C WX1820H-CMW710 (R5437P01)	2020-12-09	リリースバージョン	なし

H3C WX1820H-CMW710-R543 7P01	H3C WX1820H-CMW710 (R5435P02)	2020-10-27	リリースバージョン	なし
H3C WX1820H-CMW710-R543 5P02	H3C WX1820H-CMW710 (R5430P03)	2020-08-15	リリースバージョン	なし
H3C WX1820H-CMW710-R543 0P03	H3C WX1820H-CMW710 (R5426P02)	2020-05-10	リリースバージョン	なし
H3C WX1820H-CMW710-R542 6P02	D029SPの最初 のリリース	2019-11-15	ESSバージョン	なし

WX1840H

表4 WX1840Hバージョン履歴

バージョン番号	最終バージョン	リリース日	リリースタイプ	備考
H3C WX1840H-CMW710-R543 9P05	H3C WX1840H-CMW710 (R5439P01)	2020-03-15	リリースバージョン	なし
H3C WX1840H-CMW710-R543 9P01	H3C WX1840H-CMW710 (R5435P02)	2020-12-09	リリースバージョン	なし
H3C WX1840H-CMW710-R543 5P02	H3C WX1840H-CMW710 (R5430P03)	2020-08-15	リリースバージョン	なし
H3C WX1840H-CMW710-R543 0P03	H3C WX1840H-CMW710 (R5426P02)	2020-05-10	リリースバージョン	なし
H3C WX1840H-CMW710-R542 6P02	D029SPの最初 のリリース	2019-11-15	リリースバージョン	なし

ハードウェアとソフトウェアの互換性マトリックス

△ 注意

アップグレードの失敗を回避するには、表5、表6、表7、および表8を使用して、アップグレードを実行する前にハードウェアとソフトウェアの互換性を確認します。

WX1804H

表5 WX1804H-PWRハードウェアおよびソフトウェア互換性マトリックス

項目	仕様
モデル	WX1804H-PWR
メモリー	1GB

項目	仕様
フラッシュ	1GB Nand型フラッシュ
ブートROMのバージョン	Basic:1.09 Extend:1.09 (注:バージョン情報を表示するには、任意のビューでdisplay versionコマンドを使用します。注②を参照してください)。
ホストソフトウェア	WX1840H-CMW710-R5439P01.ipe MD5:bb55d1c94df74141a5bf1eac08bb78fb
iMCバージョン	IMC PLAT7.3(E0705P04)iMC WSM7.3(E0605)
iNodeバージョン	INode7.3(E0538)
APバージョン	WA4300-CMW710- R2439P01WA4300H-CMW710- R2439P01WA4300S-CMW710- R2439P01WA4600-CMW710- E2439P01WA5300-CMW710- R2439P01WA5600-CMW710- R2439P01WA6500-CMW710- R2439P01WA6300-CMW710- R2439P01 WA6600-CMW710-E2439P01

WX1804H-PWRのシステムソフトウェアバージョンおよびブートROMバージョンを表示するには、次の手順に従います。

<Sysname> display version

H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 5439P01 ----- 注①

Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved. H3C WX1804H-PWR

uptime is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 25 minutes

Last reboot reason : User soft reboot

Boot image: flash:/boot.bin

Boot image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled

Dec 08 2020 16:00:00

System image: flash:/system.bin

System image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled

Dec 08 2020 16:00:00

with 1 800MHz Processor

1024M bytes DDR3

1024M bytes NandFlash Memory

Hardware Version is Ver.A BLE 1

Version is 1.03

Basic Bootrom Version is 1.05 -----注②

Extend Bootrom Version is 1.05 -----注②

[Subslot 0]WX1804H-PWR Hardware Version is Ver.A

WX1810H

表6 WX1810H-PWRハードウェアおよびソフトウェア互換性マトリクス

項目	仕様
モデル	WX1810H-PWR
メモリー	1GB
フラッシュ	1GB Nand型フラッシュ
ブートROMのバージョン	Basic:1.06 Extend:1.06 (注:バージョン情報を表示するには、任意のビューでdisplay versionコマンドを使用します。注②を参照してください)。
ホストソフトウェア	WX1810H-CMW710-R5439P01.ipe MD5:7c0ab8a1f5a037d7662bb922cc77af41
iMCバージョン	IMC PLAT7.3(E0705P04)iMC WSM7.3(E0605)
iNodeバージョン	INode7.3(E0538)
APバージョン	WA4300-CMW710- R2439P01WA4300H-CMW710- R2439P01WA4300S-CMW710- R2439P01WA4600-CMW710- E2439P01WA5300-CMW710- R2439P01WA5600-CMW710- R2439P01WA6500-CMW710- R2439P01WA6300-CMW710- R2439P01 WA6600-CMW710-E2439P01

WX1804H-PWRのシステムソフトウェアバージョンおよびブートROMバージョンを表示するには、次の手順に従います。

```
<Sysname> display version
```

```
H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 5439P01 ----- 注①
```

```
Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved. H3C WX1810H-PWR
```

```
uptime is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 3 minutes
```

```
Last reboot reason : Power on
```

```
Boot image: flash:/boot.bin
```

```
Boot image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled
```

```
Dec 08 2020 16:00:00
```

```
System image: flash:/system.bin
```

```
System image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled
```

```
Dec 08 2020 16:00:00
```

```
with 1 1333MHz Multi-core Processor 1024M
```

```
bytes DDR3
```

1024M bytes NandFlash Memory
Hardware Version is Ver.B CPLD
Version is 004
BLE Version is 1.03
Basic Bootrom Version is 1.05 ----- 注②
Extend Bootrom Version is 1.05 ----- 注②
[Subslot 0]WX1810H-PWR Hardware Version is Ver.B

WX1820H

表 7WX1820Hハードウェアおよびソフトウェアの互換性マトリックス

項目	仕様
モデル	WX1820H
メモリー	1GB
フラッシュ	1GB Nand型フラッシュ
ブートROMのバージョン	Basic:1.15 Extend:1.15 (注:バージョン情報を表示するには、任意のビューでdisplay versionコマンドを使用します。注②を参照してください)。
CPLDのバージョン	004
ホストソフトウェア	WX1820H-CMW710-R5439P01.ipe MD5:ff000175611a1f361f0cf291e578b218
iMCバージョン	IMC PLAT7.3(E0705P04)iMC WSM7.3(E0605)
iNodeバージョン	INode7.3(E0538)
APバージョン	WA4300-CMW710- R2439P01WA4300H-CMW710- R2439P01WA4300S-CMW710- R2439P01WA4600-CMW710- E2439P01WA5300-CMW710- R2439P01WA5600-CMW710- R2439P01WA6500-CMW710- R2439P01WA6300-CMW710- R2439P01 WA6600-CMW710-E2439P01

WX1820HのシステムソフトウェアバージョンおよびブートROMバージョンを表示するには、次の手順に従います。

<Sysname> display version

H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 5439P01 ----- 注①

Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved. H3C WX1820H uptime

is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 4 minutes

Last reboot reason : User soft reboot

Boot image: flash:/boot.bin

Boot image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled

Dec 08 2020 16:00:00

System image: flash:/system.bin

System image version: 7.1.064, Release 5439P01 Compiled

Dec 08 2020 16:00:00

with 1 1333MHz Multi-core Processor 1024M

bytes DDR3

1024M bytes NandFlash Memory

Hardware Version is Ver.B CPLD

Version is 004

Basic Bootrom Version is 1.15 ----- 注②

Extend Bootrom Version is 1.15 ----- 注②

[Subslot0]WX1820H Hardware version is Ver.B

WX1840H

表8WX1840Hハードウェアおよびソフトウェアの互換性マトリックス

項目	仕様
モデル	WX1840H
メモリー	1GB
フラッシュ	1GB Nand型フラッシュ
ブートROMのバージョン	Basic:1.07 Extend:1.12 (注:バージョン情報を表示するには、任意のビューでdisplay versionコマンドを使用します。注②を参照してください)。
CPLDのバージョン	003
ホストソフトウェア	WX1840H-CMW710-R5439P05.ipe MD5:d6410e0bd9ce97cf04f3d0e0428c8b52
iMCバージョン	IMC PLAT7.3(E0705P04)iMC WSM7.3(E0605H01)
iNodeバージョン	INode7.3(E0538)
APバージョン	WA4300-CMW710- R2439P05WA5300-CMW710- R2439P05 WA5600-CMW710-R2439P05

WX1840HのシステムソフトウェアバージョンおよびブートROMバージョンを表示するには、次の手順に従います。

<Sysname> display version

H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 5439P05 ----- 注①

Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved. H3C WX1840H uptime

is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 3 minutes

Last reboot reason : Power on

Boot image: flash:/boot.bin
 Boot image version: 7.1.064, Release 5439P05
 Compiled Dec 08 2020 16:00:00
 System image: flash:/system.bin
 System image version: 7.1.064, Release 5439P05 Compiled
 Dec 08 2020 16:00:00

with 1 1000MHz Multi-core Processor 1024M
 bytes DDR3
 16M bytes NorFlash Memory 1024M
 bytes NandFlash Memory

Hardware Version is Ver.A CPLD
 Version is 003
 Basic Bootrom Version is 1.07 ----- 注②
 Extend Bootrom Version is 1.09 ----- 注②
 [Subslot 0]WX1840H Hardware Version is Ver.A

Fit AP互換性テーブル

表9 WX1804H(国内および海外)、WX1810H、WX1820H Fit AP互換性表(香港、マカオ、台湾を含む国内)

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WA2620E-D	WA2620E-D	wa4300s.ipe	Yes	なし
H3C WA2610H	WA2610H			なし
H3C WA2610H-LI	WA2610H-LI			WX1804Hのみ 国内のみ
H3C WA2610H-GN-H20	WA2610H-GN-H20			なし
H3C WA2612-H20	WA2612-H20			なし
H3C SIC-AP220	SIC-AP220			なし
H3C WA4620i-ACN	WA4620i-ACN	wa4600.ipe	Yes	なし
H3C WA4620E-ACN	WA4620E-ACN			なし
H3C WA4320	WA4320	wa4300s.ipe	Yes	なし
H3C WA4320-ACN-C	WA4320-ACN-C			なし
H3C WA4320-ACN-SI	WA4320-ACN-SI			なし
H3C WA4320-ACN-PI	WA4320-ACN-PI			なし
H3C WA4320-ACN-D	WA4320-ACN-D			なし
H3C WA4320-ACN-E	WA4320-ACN-E			なし
H3C WA4320H-SI	WA4320H-SI			なし

H3C WA4320-ACN	WA4320-ACN	wa4300.ipe	Yes	なし
H3C WA4320-ACN-B	WA4320-ACN-B			なし
H3C WA4320H-ACN	WA4320H-ACN			なし

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WA4320H-ACN-HI	WA4320H-ACN-HI			なし
H3C WA4320i-ACN	WA4320i-ACN			なし
H3C WA4320i-X-R	WA4320i-X-R			なし
H3C WA4320i-X	WA4320i-X			なし
H3C WA4320X	WA4320X			なし
H3C WA4320X-H20	WA4320X-H20			なし
H3C WA4330-ACN	WA4330-ACN			なし
H3C WA4320-TI	WA4320-TI			なし
H3C WA4310-TB	WA4310-TB			なし
H3C WA4320i-X-EWELL	WA4320i-X-EWELL			なし
H3C WA4320X-A	WA4320X-A			なし
H3C UAP200	UAP200			なし
H3C WA5620i-ACN	WA5620i-ACN			wa5600.ipe
H3C WA5620	WA5620	なし		
H3C WA5620E-T	WA5620E-T	なし		
H3C WA5620X	WA5620X	なし		
H3C WA4320H	WA4320H	wa4300h.ipe	Yes	なし
H3C WA5320H-HI	WA5320H-HI			なし
H3C WA4320H-EI	WA4320H-EI			なし
H3C WA4320H-ACN-H20	WA4320H-ACN-H20			なし
H3C WA4320-EPON	WA4320-EPON			なし
H3C SIC-AP320	SIC-AP320			なし
H3C WA5320H-LI	WA5320H-LI			WX1804Hのみ 国内
H3C WTU430H-LI	WTU430H-LI			WX1804Hのみ 国内
H3C WA5320-D	WA5320-D			なし
H3C WA4320-H20	WA4320-H20			なし
H3C WA5320H-EPON	WA5320H-EPON	なし		
H3C WA5320E	WA5320E	wa5300.ipe	Yes	なし
H3C WA5320	WA5320			なし
H3C WA5322	WA5322			なし
H3C WA5320i	WA5320i型			なし
H3C WA5320-C	WA5320-C			なし

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考		
H3C WA5320-C-EI	WA5320-C-EI			なし		
H3C WA5320H	WA5320H			なし		
H3C WA5530	WA5530			なし		
H3C WA5530-SI	WA5530-SI			なし		
H3C UAP300	UAP300			なし		
H3C UAP380	UAP380			なし		
H3C UAP300-SI	UAP300-SI			なし		
H3C WA5630X	WA5630X			なし		
H3C WA5320X	WA5320X			なし		
H3C WA5320X-L	WA5320X-L			なし		
H3C WA5320-SI	WA5320-SI			なし		
H3C WA5320H-SI	WA5320H-SI			なし		
H3C WA5320X-SI	WA5320X-SI			なし		
H3C WA5320X-E	WA5320X-E			なし		
H3C WA5530E	WA5530E			なし		
H3C WA5320-TI	WA5320-TI			なし		
H3C WA5530S	WA5530S			なし WX1804Hのみ 国内		
H3C WA5320i-LI	WA5320i-LI			なし WX1804Hのみ 国内		
H3C WA5320X-LI	WA5320X-LI			なし WX1804Hのみ 国内		
H3C WA5520-T	WA5520-T			なし		
H3C WA5340	WA5340			なし		
H3C WA5530i	WA5530i型			なし		
H3C WA5530-LI	WA5530-LI			なし		
H3C WA5320S-E	WA5320S-E			なし		
H3C WA5320-C-IOT	WA5320-C-IOT			なし		
H3C WA5530X	WA5530X			なし		
H3C WA6330	WA6330			wa6300.ipe	Yes	なし
H3C WA6320	WA6320					なし
H3C WA6322	WA6322					なし
H3C WA6320H	WA6320H					なし
H3C WA6320H-LI	WA6320H-LI					なし
H3C WA6330-LI	WA6330-LI	なし				
H3C WA6320-C	WA6320-C	なし				
H3C WA6320-D	WA6320-D	なし				

AP名	モデルモデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WTU632H-IOT	WTU632H-IOT			なし
H3C WA6338	WA6338			なし
H3C WA6322H	WA6322H			なし
H3C WA6320-SI	WA6320-SI			なし
H3C WA6338-LI	WA6338-LI			なし
H3C WA6322H-LI	WA6322H-LI			なし
H3C型 WA6320H-XEPON	WA6320H-XEPON			なし
H3C WA6528	WA6528	wa6500.ipe	Yes	なし
H3C WA6620	WA6620	wa6600.ipe	Yes	なし
H3C WA6620X	WA6620X			なし
H3C WA6622	WA6622			なし
H3C WA6628	WA6628			なし
H3C WA6638	WA6638			なし
H3C WA6630X	WA6630X			なし
H3C WA6628E-T	WA6628E-T			なし
H3C WA6628X	WA6628X			なし
H3C WT1024-LI-Q	WT1024-LI-Q	Wt1024qli.ipe		いいえ

表10 WX1804H(海外)、WX1810H、WX1820H、WX1840H Fit AP互換性表(海外)

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WA510H-WW	WA510H-WW	wa4300h.ipe	Yes	なし
H3C WA530X-WW	WA530X-WW	wa5300.ipe	Yes	なし
H3C WA538-WW	WA538-WW			なし
H3C WA538-JP	WA538-JP			なし
H3C WA536-WW	WA536-WW			なし
H3C WA530-WW	WA530-WW			なし
H3C WA5330	WA5330			なし
H3C WA5530i	WA5530i			なし
H3C WA5530X	WA5530X			なし
H3C WA560-WW	WA560-WW			wa5600.ipe
H3C WA6330	WA6330	wa6300.ipe	Yes	なし
H3C WA6320	WA6320			なし

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WA6320H	WA6320H			なし
H3C WA6622	WA6622	wa6600.ipe	Yes	なし
H3C WA6628	WA6628			なし
H3C WA6638	WA6638			なし
H3C WA6630X	WA6630X			なし
H3C WA6638-JP	WA6638-JP			なし

表11 Fit AP互換性表(クラウドAP)

AP名	モデル	イメージ名	同じパッケージ内のAPイメージはACイメージ?	備考
H3C WA4320H-SI	WA4320H-SI	wa4300s-oasis.bin	いいえ	なし
H3C WA4320E	WA4320E	wa4300h-oasis.ipe		なし
H3C WA5320-D	WA5320-D			なし
H3C WA4320H	WA4320H			なし

アップグレードの制限とガイドライン

なし

ハードウェア機能の更新

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-R5439P05

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-R5439P01

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-R5437P01

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-R5435P02

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-E5430P03

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-E5427

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CM
W710-E5426P02

初回リリース

ソフトウェア機能とコマンドの更新

ソフトウェア機能およびコマンド更新履歴の詳細については、「H3C
WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-CMW710-R5439P05リリースノート(ソフトウェア機能の変更)」
を参照してください。

MIBアップデート

表12 MIBの更新

項目	MIBファイル	モジュール	説明
WX1804H_WX1820H-CMW710-E5427			
新規	なし	なし	なし
変更された	なし	なし	なし
WX1804H_WX1820H-CMW710-E5426P02			
新規	最初のリリース	最初のリリース	最初のリリース
変更された	最初のリリース	最初のリリース	最初のリリース

操作の変更

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-R54 39P05の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-R54 39P01の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-R54 37P01の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-R54 35P02の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-R54 30P03の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-E54 27の動作変更

なし

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H-
CMW710-E54 26P02の動作変更

なし

制限事項と注意事項

- APのソフトウェアバージョンをE2109P03以前からアップグレードすると、APの長期動作によるメモリーフラグメンテーションのために失敗する場合があります。この問題を回避するためのベストプラクティスとして、アップグレード操作の前にACでreset wlan ap allコマンドを実行してすべてのAPを再起動してください。
- AC管理にiMCを使用する場合は、管理対象ACのSNMP通知ライフタイムを60秒に設定し、ワイヤレスパフォーマンスモニタリングをディセーブルにします。
- サービステンプレートに設定されたユーザー分離を有効にするには、サービステンプレートにバインドされたVLANインターフェイスにARPプロキシを設定しないでください。
- MSG360-22L-PWR以外の機器は、管理ポート、WANポート、ポートLAN1を使用してBootWareメニューからイメージをダウンロードできます。これらのポートの優先順位は降順です。MSG360-22L-PWRはポートLAN1のみ使用できます。
- WX1800シリーズアクセスコントローラ上のポートは、デフォルトで1000BASE-Tポートとして動作し、ポートレートの自動ネゴシエーションをサポートしません。ピアポートが別のレートで動作する場合は、ローカルポートのポートレートを手動で変更する必要があります。
- PPPoEを使用するには、ダイヤラインターフェイスでtcp mss1452コマンドを実行することをお勧めします。

未解決の問題と回避策

201905170516

- 症状:ACは、WBC560にデプロイされたローカルまたはプライベートOasisプラットフォームと関連付けることができません。
- 状態:この症状は、ACのバージョンがx5422で、WBC560のバージョンがx5421以下の場合に発生することがあります。
- 回避策:ポート443を使用してクラウド接続を確立するようにACを設定するには、cloud-management server portコマンドを使用します。

201907180985

- 症状:Webインターフェイスからのバージョンx52xxへのAC5423以降からバージョンx52xxに低下させるのに成功しましたが、システムから動作障害が発生しました。障害が発生したため、ACを自動的に再起動できません。
- 状態:この症状は、WebインターフェイスからACをバージョンx5423以降からバージョンx52xxにデグレードした場合に発生する可能性があります。
- 回避策:CLIからACをデグレードします。

202007160228

- 症状:ACのデフォルトのユーザー名またはパスワードを変更すると、管理者ログインエラーが表示されません。
- 状態:この症状は、ACのデフォルトのユーザー名またはパスワードを変更した場合に発生する可能性があります。
- 回避策: SmartMC ネットワーク上でCLIからコマンドに指定されたデフォルトのユーザー名とパスワードをCLIから変更します。

202009251364

- 症状:Wi-Fi6APが接続されていると、RRMが正しく動作しません。
- 状態:この症状は、Wi-Fi6APが接続されているときにRRMが有効になっている場合に発生することがあります。

- 繰り返し:常に。
- 回避策:無線ビューでscan max-service-time5000コマンドを実行します。

202010301068

- 症状:CAリージョンコードが正しく設定されていません。ソフトウェアをR5435以降にアップグレードすると、設定が失われます。
- 状態:CAリージョンコードが正しく設定されておらず、ソフトウェアがR5435以降にアップグレードされている。
- 回避策:1)アップグレード前に正しいリージョンコードに変更し、設定を保存します。2)アップグレード後にAPの無線を有効にし、無線の最大電力を設定します。

202011160101

- 症状:ソフトウェアをx52xxからx54xxにアップグレードすると、wlan auto-ap enable設定が失われます。
- 状態:この症状は、ソフトウェアがx52xxからx54xxにアップグレードされたときにwlan auto-ap enable設定が存在する場合に発生する可能性があります。
- 回避策:なし。

202011250306

- 症状:APの事前プロビジョニングが設定されていると、管理にVLAN1以外のVLANを使用するAPIは、オフラインになった後にオンラインになることができません。
- 状態:この症状は、APが管理VLANとしてVLAN1以外のVLANを使用している場合に発生する可能性があります。
- 繰り返し:常に。
- 回避策:APの管理VLANとしてVLAN1以外のVLANを指定する場合は、APの事前プロビジョニングを設定しないでください。

202012160377

- 症状:サービステンプレートでclient max-countコマンドが設定された後、エキスパートモードでWebインターフェイスからサービステンプレートにmax client count以外の設定が設定されると、設定が失われます。
- 状態:この症状は、サービステンプレートでclient max-countコマンドが設定された後に、エキスパートモードでWebインターフェイスからサービステンプレートにmax client count以外の設定が設定された場合に発生することがあります。
- 再現性:常に。
- 回避策:client max-countコマンドを設定しないでください。

202012010550

- 症状:一部のAPがACとアソシエートできない可能性があります。
- 状態:この症状は
WA4320H-SI/WA4320E/WA5320-D/WA4320H/WAP712H/WAP711H/WAP712C-LI AP。
- 回避策:APを再起動します。

解決された問題のリスト

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-R5439P05で解決された問題

202012281116

- 症状:オンラインAPデータは、Webインターフェイスのダッシュボードページにパーセンテージではなく数量単位で表示されます。
- 状態:なし。

202012281073

- 症状:WebインターフェイスのワイヤレスサービスステータスおよびAPステータスに説明が追加されました。
- 状態:なし。

202012300343

- 症状:scap roam-optimize traffic-hold enableコマンドにadvancedキーワードが追加され、ローミング中にシステムがデータ送信を保留できるようになりました。
scp anti-sticky aclコマンドが追加され、クライアントのアンチスティッキーを設定して、ACLに基づいて最適でないAPからクライアントの関連付けを解除できるようになりました。
wlan system internal scap anti-sticky factor-reportコマンドが追加され、APがクライアントのanti-sticky factorをACに報告できるようになりました。
APから報告されたクライアントのアンチスティッキーファクタを表示するために、display system internal wlan scap anti-sticky factorコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

202012291336

- 症状:Webインターフェイスに漢字が表示されることがあります。
- 状態:この症状は、Cookie設定が正常に設定されず、システムがデバイスに正しい言語設定を展開しない場合に発生する可能性があります。

202012250766

- 症状:Webインターフェイスのダッシュボードページで、APデータやシステム使用状況などの情報を自動的にリフレッシュできます。
- 状態:なし。

202102221072

- 症状:WA5300APが予期せず再起動することがあります。
- 状態:なし。

202103010286(WX1804H国内バージョンを除く)

- 症状:WebインターフェイスでAPオフラインステータスアイコンと説明の色が赤に変更されました。
- 状態:なし。

202103010286(WX1804H国内バージョン)

- 症状:エキスパートモードのWebインターフェイスで、APオフラインステータスアイコンと説明の色が赤に変更されました。
- 状態:なし。

202103010292(WX1804H国内バージョンを除く)

- 症状:WebインターフェイスからMIMO8x8モードで動作するようにAPを設定できません。
- 状態:なし。
- 再現性:常に。

202103010292(WX1804H国内バージョン)

- 症状:エキスパートモードのWebインターフェイスからMIMO8x8モードで動作するようにAPを設定できま

せん。

- 状態:なし。

202103010289(WX1804H国内バージョンを除く)

- 症状:ExcelでWebインターフェイスからAP情報をエクスポートするサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202103010289(WX1804H国内バージョン)

- 症状:エキスパートモードでWebインターフェイスからExcelでAP情報をエクスポートするサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202103010284

- 症状:ACから送信されたRADIUS Access-RequestパケットにCalling-Station-Idパラメータが含まれていません。
- 状態:なし。

202103010287(WX1804H国内バージョンを除く)

- 症状:IE11ブラウザを使用してWebインターフェイスにアクセスすると、ワイヤレスサービスステータスアイコンとAPステータスアイコンが説明と一致しません。
- 状態:この症状は、IE11ブラウザを使用してWebインターフェイスにアクセスした場合に発生する可能性があります。
- 再現性:常に。

202103010287(WX1804H国内バージョン)

- 症状:IE11ブラウザを使用してエキスパートモードでWebインターフェイスにアクセスすると、ワイヤレスサービスステータスアイコンとAPステータスアイコンが説明と一致しません。
- 状態:この症状は、IE11ブラウザを使用してエキスパートモードでWebインターフェイスにアクセスした場合に発生することがあります。

202103021139(WX1840H)

- 症状:ライセンスクライアント機能が追加されました。
- 状態:なし。

202103010278(WX1804H国内バージョンを除く)

- APグループおよびAP情報の表示モードをWebインターフェイスのツリー構造に変更。
- 状態:なし。

202103010278(WX1804H国内バージョン)

- エクスパートモードのWebインターフェイスで、APグループおよびAP情報の表示モードをツリー構造に変更。
- 状態:なし。

202101131422(WX1804H国内バージョンを除く)

- 症状:WebインターフェイスからWIPSが設定されている場合、システムにエラーメッセージが表示されます。
- 状態:この症状は、WebインターフェイスからWIPSが設定されている場合に発生する可能性があります。
- 再現性:常に。

202101131422(WX1804H国内バージョン)

- 症状:WebインターフェイスからエキスパートモードでWIPSを設定すると、システムにエラーメッセージが

表示されます。

- 状態:この症状は、WebインターフェイスからWIPSがエキスパートモードで設定されている場合に発生することがあります。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-R5439P01で解決された問題

202011090806

- 症状:DPI機能のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202009230112

- 症状:WLANプローブを有効にすると、メモリーアラームが発生することがあります。
- 状態:この症状は、WLANプローブが有効になっている場合に発生する可能性があります。
- 発生:まれに。

202011020740

- 症状:WebインターフェイスからのWPA3設定のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202011090138

- 症状:スリープメカニズムにより、特定のPDAバーコードスキャナモデルでパケット損失が発生します。
- 再現性:常に。

202010100302

- 症状:Fast BSS Transition(FT)がイネーブルの場合、802.1X認証が失敗することがあります。
- 状態:この症状は、Fast BSS Transition(FT)が有効になった後にクライアントが802.1X認証を介してネットワークにアクセスする場合に発生する可能性があります。

202009240199

- 症状:display wlan client verboseコマンドの出力にアクセスチャネル情報が追加されました。
- 状態:なし。

202008310596

- 症状:broadcast-probe replyコマンドのパラメータが最適化されました。
- 状態:なし。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-R5437P01で解決された問題

202010160043

- 症状:デュアルリンクバックアップネットワークでは、APグループ用に設定されたデュアル5Gロードバランシングを、マスター/バックアップスイッチバック後にAPIに展開できません。
- 状態:この現象は、マスター/バックアップの切り替え後にデュアルリンクバックアップネットワークで発生する可能性があります。
- 繰り返し:常に。

202010160042

- 症状:高速BSS Transition(FT)がイネーブルになった後、802.1Xクライアント認証が失敗します。
- 状態:この症状は、FTが有効になった後に発生する可能性があります。

202010160039

- 症状:デュアルリンクバックアップネットワークでは、マスター/バックアップスイッチオーバー後にAPコンフィギュレーションファイルを展開できません。
- 状態:この現象は、マスター/バックアップの切り替え後にデュアルリンクバックアップネットワークで発生する可能性があります。
- 再発:まれに。

202009140489

- 症状:ポータルリダイレクションURLで伝送された中国語SSIDの文字が不明瞭になります。
- 状態:この症状は、中国語SSIDが設定されているx5431以降のバージョンで発生する可能性があります。

202005140055

- 症状:ip verify unknown-ipコマンドが削除されました。
- 状態:なし。

202007310008

- 症状:デュアルリンクバックアップネットワークでは、オフラインになったAPがオンラインにならず、ACがAPコマンドに対して低速で応答することがあります。
- 状態:この症状は、APがデュアルリンクバックアップネットワークにアクセスする場合に発生する可能性があります。
- 再発:低。

202006180077

- 症状:異常なAP関連プロセスがACのサービスを中断します。
- 状態:なし。
- 再発:低。

202008170813

- 症状:すでにMACアドレスが割り当てられているオンラインAPIにシリアルIDを設定すると、NMSがAPからデータを取得できなくなり、一部のコマンドがACで実行できなくなります。
- 状態:この症状は、すでにMACアドレスが割り当てられているオンラインAPIにシリアルIDが設定されている場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202008070492

- 症状:無線が動作チャネルを切り替えた後、使用中の動作チャネルでレーダー信号が検出され、動作チャネル切り替え用に生成されたsyslogメッセージに不正な情報が含まれます。
- 状態:この症状は、無線が動作チャネルを切り替えた後に、使用中の動作チャネルでレーダー信号が検出された場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202007220452

- 症状:クライアントでアクセス失敗許可と認証失敗許可が交互に有効になると、クライアントはオンラインになりません。

- 状態:この症状は、アクセス失敗許可と認証失敗許可がクライアントで順番に有効になった場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202008100086

- 症状:アカウントングパケットのアカウントング機能が最適化され acct-multi-session-idアトリビュートは、デュアルスタックポータルユーザまたは複数のIPv6アドレスを持つポータルユーザに対してIP単位のアカウントングがイネーブルになっている場合に使用できます。
- 状態:なし。

202004220794

- 症状:標準モードでは、Webインターフェイスからのワイヤレスサービスに対する操作が失敗します。
- 状態:この症状は、標準モードでWebインターフェイスからワイヤレスサービスを設定した場合に発生する可能性があります。
- 回避策:Webインターフェイスからエキスパートモードでワイヤレスサービスを設定します。

202007300560

- 症状:APモデルWA6320H、WA6638、WA6622のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-R5435P02で解決された問題

202003130684

- 症状:APモデルWA5530iのサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202002270521

- 症状:フェール許可イネーブルコマンドにkeep-onlineキーワードが追加されました。これにより、オンラインクライアントは、クライアントのフェール許可中もオンライン状態を維持できます。
- 状態:なし。

202002170022

- 症状:wlan radio-load-balance overload-5g ssid-hideコマンドのデフォルト設定が変更され、オーバーロードされた5GHz無線がデフォルトでSS IDを非表示にできるようになりました。
- 状態:なし。

202002190857

- 症状:高速移行では、システムがh3cDot11APUserAuthCurNumberノードからデータを読み取るときにエラーが発生します。
- 状態:この症状は、高速移行が設定されたWLANで発生する可能性があります。

202004080350

- 症状:show ipv6interfaceコマンドの出力にあるND routeradvertisements liveの値が、ipv6nd ra router-lifetimeコマンドが設定されていません。
- 状態:この症状は、ipv6nd ra router-lifetimeコマンドが設定されていないときにdisplay ipv6interfaceコマンドが実行された場合に発生します。

202004020527

- 症状:IPv6ACLが編集され、サービストラフィックが集中型フォワーディングモードで存在すると、ACが予期せず再起動します。
- 状態:この症状は、IPv6ACLが編集され、サービストラフィックが集中転送モードで存在する場合に発生する可能性があります。繰り返し:常に。

202004030462

- 症状:calibrate-channel receive-flow service-traffic thresholdコマンドが追加され、無線で受信されるトラフィックのサービストラフィックしきい値が設定されました。
- adjacency-factorコマンドのデフォルト値が1に変更されました。
- calibrate-channel self-determinative enableコマンドのグローバルコンフィギュレーションビューに{2.4g | 5g | all}パラメータが追加されました。
- calibrate-power self-determinative enableコマンドのグローバルコンフィギュレーションビューに{2.4g | 5g | all}パラメータが追加されました。
- calibrate-channel interference-thresholdコマンドのアルゴリズムが最適化されました。
- calibrate-power thresholdコマンドのデフォルト値が75に変更されました。
- channel-usage-thresholdコマンドのアルゴリズムを最適化しました。
- 有効なチャンネルおよびネイバーデータが最後に検出された時刻を表示するために、display wlan rrm-statusapコマンドからの出力にLast-DetectedAtフィールドを追加しました。
- tolerance-levelコマンドのデフォルト値が10に変更されました。
- 状態:なし。

202004150617

- 症状:異なるモデルのACのAPライセンス同期機能が最適化され、APライセンスが同期されました。
- 状態:なし。

202004030680

- 症状:WebインターフェイスからISPドメインの設定を表示し、新しいドメインを作成すると、以前に表示されていたドメインが削除されます。
- 状態:この症状は、WebインターフェイスからISPドメインの設定を表示し、新しいドメインを作成した場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202005110623

- 症状:Bonjourゲートウェイが有効になっていると、プロセスエラーが発生します。
- 状態:この症状は、Bonjour Gatewayがイネーブルの場合に発生する可能性があります。

202004070699

- 症状:syslog出力が最適化されました。
- 状態:なし。

202003230825

- 症状:オプションdot11n-constraintコマンドにtidキーワードが追加されました。
- 状態:なし。

202004261083

- 症状:デュアルリンクバックアップでは、元のプライマリACが回復した後にACスイッチバックが失敗します。
- 状態:この現象は、デュアルリンクバックアップ環境でプライマリ/バックアップのスイッチオーバー後に発

生することがあります。

- 繰り返し:常に。

202001200014

- 症状:BSS Transition Management(BTM)を設定するbss transition-managementコマンドが追加されました。
- 強制BTMアソシエーション解除を設定するbss transition-management forced-disassociationコマンドが追加されました。
- クライアントスティッキを設定するために、sacp client-stickyコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

202004280031

- 症状:ローカル転送モードでのWAPIのサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202004020338

- 症状:VIPクライアントのレート制限にvip limit rateコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

202005200050

- 症状:ローカル転送モードで管理可能なAPの数が、WX1840Hでは40から128に、WX3820Hでは256から512に増加しました。
- 状態:なし。

202004290716

- 症状:ログインユーザーのパスワード強度のチェックのサポートが追加されました。
- 状態:この症状は、Webインターフェイスの言語が日本語の場合に発生することがあります。

202005220731

- 症状:デュアルリンクネットワークのローカル転送モードで、portal safe-redirect enableコマンドから返されたエラーコードが正しくありません。
- 状態:この症状は、デュアルリンクネットワークで、ローカル転送モードのスタンバイACでportal safe-redirect enableコマンドが実行された場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202006150902

- 症状:クライアントが内部ネットワーク10.1.0.6/10.168.168.1にアクセスするとリダイレクトされます。
- 状態:この症状は、クライアントが内部ネットワーク10.1.0.6/10.168.168.1にアクセスした場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202006050919

- 症状:Webインターフェイスからの標準モードでのAP名の変更は、ACの再起動後に有効になりません。
- 状態:この症状は、AP名がWebインターフェイスから共通モードで編集された場合に発生することがあります。

202005200385

- 症状:多数のVLANが設定されている場合、WebインターフェイスのAP設定ページの応答が遅くなります。
- 状態:この症状は、多数のVLANが設定されている場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202006020781

- 症状:VLANベースのユーザー分離機能で、ACLと一致するブロードキャストパケットおよびマルチキャストパケットの通過を許可するサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202006120827

- 症状:APが動作チャンネルを切り替えた場合のSyslogエントリの生成のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202004150918

- 症状:pingパケットの送信遅延が長くなります。
- 状態:なし。

202007060003

- 症状:LDAP認証は、2回のパスワード試行後にのみ成功します。
- 状態:この症状は、LDAP認証が実行されたときに発生します。
- 繰り返し:常に。

202007090962

- 症状:クライアントからヌルデータパケットを受信したときに、ACがデauthパケットを送信するサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202001200672

- 症状:ログオフして再度ログインしたクライアントの履歴をオンラインおよびオフラインで記録するサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202006180053

- EAPOL-Keyパケットを送信するためのオプション4-way-handshakeretryコマンドで指定された再試行間隔の単位がミリ秒単位ではなくなりました。
- 状態:なし。

201907100113

- 症状:client keep-alive intervalコマンドで設定されたキープアライブインターバルが50秒未満の場合、クライアントは強制的にログオフされます。
- 状態:この症状は、client keep-alive intervalコマンドで設定されたキープアライブインターバルが50秒より小さい場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202004290184

- 症状:SAVIが有効になっているクライアントはローミング後にネットワークにアクセスできません。
- 状態:この症状は、SAVIが有効なときにクライアントがAP間でローミングした場合に発生することがあります。
 - 再発:まれに。

202007080922

- 症状:デバイスが予期せず再起動する可能性があります。
- 状態:なし。

202007080921

- 症状:デバイスのストレージメディアの読み取りと書き込みが最適化されました。
- 状態:なし。

202007230022

- 症状:OasisプラットフォームでACが登録された後、ACの一部の機能が正しく動作しません。
- 状態:この症状は、ACがOasisプラットフォームに関連付けられている場合に発生する可能性があります。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-R5430P03で解決された問題

202005121012

- 症状:ACがバージョンx5427以降を使用している場合、標準モードWebインターフェイスはポート情報を正しく表示できません。
- 状態:ACがバージョンx5427以降を使用している場合、この症状は標準モードWebインターフェイスで発生する可能性があります。

202004140811

- 症状:デュアルスタックネットワークで、MACまたは802.1X認証が設定されている場合、ACはアカウンティング開始パケットを送信できません。
- 状態:この症状は、デュアルスタックネットワークでMACまたは802.1X認証が設定されている場合に発生することがあります。
- 繰り返し:常に。

202004220794

- 症状:システムは、標準Webインターフェイスでワイヤレスサービス設定エラーを表示します。
- 状態:この症状は、標準Webインターフェイスからワイヤレスサービスを設定した場合に発生する可能性があります。

202003130224

- 症状:海外市場向けのAPモデルが追加されました。
- 状態:なし。

202003180914

- 症状:IPv6ネットワークでは、BYODユーザーがリダイレクトされたページにアクセスできません。これは、BYODユーザーをリダイレクトするときに、ACが左括弧および右括弧文字列 ([]) をエスケープできないためです。
- 状態:この症状は、BYODユーザーがIPv6ネットワーク内のリダイレクトされたページにアクセスしたときに発生する可能性があります。

202002120487

- 症状:セキュリティの脆弱性CVE-2019-3855が存在します。1.8.1より前のlibssh2で、サーバーからパケットを読み取る方法で、境界外書き込みにつながる可能性のある整数オーバーフローの脆弱性が発見されました。SSHサーバーを侵害するリモート攻撃者は、ユーザーがサーバーに接続したときにクライアントシステムでコードを実行できる可能性があります。
- 状態:なし。

201912230079

- 症状:displayコマンドの出力で、無線ビューで実行されたservice-template service-template-name [vlan vlan-id1 [vlan-id2] vlan-group vlan-group-name] [ssid-hide] [nas-port-id nas-port-id]

[nas-id nas-id]コマンド内のvlan-id2が誤った位置に配置されます。

- 状態:この症状は、displayコマンドを実行して設定された設定を表示した場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202001160669

- 症状:デュアルリンクバックアップネットワークでは、レーダー検出時のチャンネルスイッチングなど、バックアップACが無線設定変更を発行すると、誤アラームがトリガーされます。
- 状態:この症状は、バックアップACが無線設定を変更した場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202001151138

- 症状:Oasisプラットフォームでローカル管理機能を使用してACにアクセスすると、ログインページが空になります。
- 状態:この症状は、Oasisプラットフォームのローカル管理機能を使用してACにアクセスした場合に発生する可能性があります。

202001160372

- 症状:特定のベンダーの携帯電話が、非表示のSS IDを持つWLANIにアクセスできません。
- 状態:この症状は、特定のベンダーの携帯電話で発生します。
- 繰り返し:常に。

201911260003

- 症状: calibrate-power minコマンドを使用して設定された最小無線送信電力の値の範囲を1～20に変更しました。
- 状態:なし。

202002170438

- 症状:Webインターフェイスから設定されたローカルフォワーディングのVLAN変更が有効になりません。
- 状態:この症状は、Webインターフェイスからローカル転送用のVLANを変更した場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

202002110028

- 症状:client dot11ax-onlyコマンドが追加され、802.11axクライアントだけがWLANIにアクセスできるようになりました。
- 状態:なし。

201906170479

- 症状:重複した構成展開のプロンプトが最適化されました。
- 状態:なし。

201912230885

- 症状:無線ロードバランシングをイネーブルにすると、ACでエラーが発生します。
- 状態:この症状は、無線ロードバランシングがイネーブルの場合に発生する可能性があります。
- 再発:まれに。

202001140352

- 症状:Webインターフェイスからサービステンプレートのユーザー分離を有効にするサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202001060786

- 症状:WebインターフェイスからVLANグループを設定し、VLANグループをサービステンプレートにバインドするサポートが追加されました。
- 状態:なし。

201912270574

- 症状: 特定のクライアントが無許可のAPIにアクセスしようとした場合にのみ対抗策を講じるために、デバイスの対抗策mac-addressコマンドにexcept-authorized-apキーワードが追加されました。
- 状態:なし。

202001110052

- 症状:WebインターフェイスのAP統計ページで、オフラインAPのMACアドレスの値がN/Aに変更されました。
- 状態:なし。

202001070698

- 症状:WebインターフェイスからのポータルDHCPパケットのキャプチャをイネーブルにするサポートが追加されました。
- 状態:なし。

201909100839

- 症状:システムが、現在のバージョンより前のバージョンをアップグレードするよう推奨している可能性があります。
- 状態:なし。

202001070713

- 症状:WebインターフェイスからのACLベースのアクセスコントロールの設定のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

201908090925

- 症状:Webインターフェイスが外部ネットワークへの接続終了を要求しても、デバイスは外部ネットワークにアクセスできます。
- 状態:なし。

201912181161

- 症状:WT1024-LI-Q、WA2610H-LI、WA5320H-LI、WTU430H-LI、WA5320i-LI、WA5320X-LI、およびWA5530S APのサポートが追加されました。
- 状態:なし。

201903080012

- 症状:Webインターフェイスからのマルチキャスト最適化の設定のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

202002270057

- 症状:ライセンス共有のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-E5427で解決された問題

201909200512

- 症状:ACの工場出荷時のデフォルト復元でAPイメージのダウンロードに失敗しました。
- 状態:この症状は、ACの出荷時のデフォルト設定を復元するとAPイメージファイルが削除されるために発生します。
- 繰り返し:常に。

201910220642

- 症状:client-rate-limitコマンドに、ダイナミッククライアントレート制限の最大および最小CIRを設定するためのオプションが追加されました。
- 状態:なし。

201909261003

- 症状:AC階層ネットワークでは、マスター/バックアップセントラルACスイッチオーバー後、クライアントが長時間オンラインになることができません。
- 状態:この症状は、マスター/バックアップの中央ACスイッチオーバーが発生した場合に発生する可能性があります。

201909160464

- 症状:高速クライアントキープアライブを設定するためのrrop client fast-keep-aliveコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

201909290619

- 症状:IPアドレス競合検出をイネーブルにするwlan client ip-conflict-detection enableコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

201909200012

- 症状:WLANロードバランシングアルゴリズムを最適化して、ランダムMACアドレスフィルタリングをイネーブルにしました。
- 状態:なし。

201910160433

- 症状:クライアントは、PPPoEダイヤルアップ接続を介してACに接続しているAPからオンラインにできません。
- 状態:この症状は、APがPPPoEダイヤルアップ接続を介してACに接続している場合に発生します。
- 繰り返し:常に。

201909241042

- 症状:詳細なWTU情報を表示するコマンドの出力に、WTU名がWT名として表示されます。
- 状態:この症状はWTネットワークで発生する可能性があります。

201909270087

- 症状:ローカル転送モードで、Webサーバー設定を変更すると、APのフェール許可がトリガーされます。
- 状態:この症状は、ローカル転送モードでWebサーバーの設定を変更した場合に発生することがあります。
- 再発:まれに。

201908230714

- 症状:undo wlan rrm-calibration-groupコマンドが有効になりません。

- 状態:なし。
- 繰り返し:常に。

201908230094

- 症状:display wlan local-acコマンドの出力にバックアップ中央ACに関する情報が追加されました。
- 状態:なし。

201910240776

- 症状:信頼できるパケットプライオリティタイプを設定するqos trustコマンドと、ポートプライオリティを設定するqos priorityコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

201910170563

- 症状:最適化されたシームレスローミング。
- 状態:なし。

201909300374

- 症状:ACにAPの説明を表示するためのdisplay wlan ap descriptionコマンドが追加されました。
- 状態:なし。

201909160094

- 症状:WPA3のサポートが追加されました。
- 状態:なし。

WX1804H_WX1810H_WX1820H_WX1840H -CMW710-E5426P02で解決された問題

初回リリース

テクニカル・サポート

service@h3c.com

<http://www.h3c.com>

付録A 機能リスト

ハードウェア機能

表13 WX1804H-PWRのハードウェアの特徴

項目	WX1804H-PWR
CPU周波数	800MHz
フラッシュ	1GB Nandflash
DRAM	1GB
寸法(H×W×D)	220mm×145.5mm×27mm
電力消費量	4.8～9.3W
重量	0.6kg
固定インターフェイス	1WAN GE 4LAN GE(PoE+) 1 USB2.0 1 コンソール
動作温度	0℃～40℃
動作時湿度(結露しないこと)	5%～95%

表14 WX1810H-PWRのハードウェアの特徴

項目	WX1810H-PWR
CPU周波数	1333MHz
Flash	1GB Nandflash
DRAM	1GB
寸法(H×W×D)	440mm×260mm×43.6mm
電力消費量	15.2～33.5W
重量	3.6kg
固定インターフェイス	2 WAN GE 10 LAN GE(PoE+) 1 USB2.0 1 コンソール
動作温度	0℃～40℃
動作時湿度(結露しないこと)	5%～95%

表1 5WX1820Hのハードウェア機能

項目	WX1820H-PWR
CPU周波数	1333MHz
フラッシュ	1GB Nandflash

項目	WX1820H-PWR
DRAM	1GB
寸法(H×W×D)	220mm×146mm×28mm
電力消費量	5.8～9.2W
重量	0.85kg
固定インターフェイス	1 WAN GE 4 LAN GE(PoE+) 1 USB2.0 1 コンソール
動作温度	0℃～45℃
動作時湿度(結露しないこと)	5%～95%

表16 WX1840Hのハードウェア機能

項目	WX1840H
CPUベース周波数	1GHz
Flash	1GB Nandflash
DRAM	1GB
寸法(H×W×D)	43.6×330×230mm(1.72×12.99×9.06インチ)
電力消費量	20～32W
重量	2kg(4.41ポンド)
固定インターフェイス	2 × WAN GEポート 6 × LAN GEポート(2つのコンポインターフェイスを含む) 1×USB2.0ポート 1 × コンソールポート
動作温度	0℃～45℃
動作時湿度(結露しないこと)	5%～95%

ソフトウェア機能

表17ソフトウェアの機能

項目	機能	仕様
802.11 MAC	802.11プロトコル	802.11a/802.11b/802.11d/802.11e(WMM)/802.11g/802.11h/ 802.11i/802.11n/802.11w/802.11ac/802.11k/802.11r/802.11u
	その他	SSIDを非表示
		複数のリージョンコード
		SSIDベースのクライアント数量制限
		無線ベースのクライアント数量制限
	クライアントのオンライン状態の検出	

項目	機能	仕様
		ローカル転送
		ポリシーベースの転送
		帯域幅保証
		帯域幅制限
		VLANプール
		バンドナビゲーション
		Bonjour gateway
		802.11bクライアント禁止
AP管理	AP検出と provisioning	APプラグアンドプレイ
		DNS検出
		MSM検出
		DHCPオプション43検出
		MSM DHCPオプション43検出
		802.1X クライアント
		APプロビジョニング
	トンネリング	CAPWAP
		AC-AP NATトラバース
		IPv6トンネリング
	その他	APグループ
		SS IDへのAPグループベースのVLAN割り当て
		AP LED制御
		APグループまたは手動APからの自動設定継承
		APグループによるファームウェアのアップグレード
ブランチAP		リモートAPモード
		APローカル認証
ローミング		AC内レイヤ2ローミング
		AC内レイヤ3ローミング
		AC間レイヤ2ローミング
		AC間レイヤ3ローミング
セキュリティとアクセス制御	暗号化	共有キー
		WEP-40
		WEP-104
		WEP-128
		動的WEP
		TKIP
		CCMP

項目	機能	仕様
	認証	オープンシステム
		共有キー
		事前共有鍵
		プライベートPSK
		802.1X
		MAC認証
		ポータル認証
	その他	MACベースのクイックポータル認証
		ローカル転送による集中型ポータル認証
		ポータル失敗許可
		ポータルサーバーのバックアップ
		ポータル認証用のHTTPSリダイレクション
		ポータルWebサーバーURL
		ポータル認証: 指定されたURLの許可、例えばWeChatとAppStoreのURL
	EAPタイプ	EAP-TLS/EAP-TTLS/EAP-PEAP/EAP-MD5/EAP-GTC/EAP-FAST/EAP-SIM/EAP-AKA
		EAPオフロード(TLS/PEAPのみ)
	AAA	RADIUS
		LDAP
		HWTACACS
		ドメインベースのAAAサーバー選択
		SS IDベースのAAAサーバー選択
		AAAサーバーバックアップ
		期間ベースの会計
	NAC	H3C EAD
	ユーザーベースのアクセス制御	ユーザーベースのアクセス制御
		ユーザーベースACL
		ユーザーベースの帯域幅制限
		ユーザーとSSIDのバインド
		ユーザーとVLAN、ACL、およびユーザプロファイルのバインディング
		ユーザーがアソシエートできるAPまたはAPグループの制限
その他	SS IDベースのユーザー分離	
	VLANベースのユーザー分離	
	ARPアンチアタック	
	ローカルAAAサーバー(ローカル認証およびローカルポータル)	
QoS		優先順位マッピング
		レイヤ2からレイヤ4へのトラフィック識別

項目	機能	仕様
		トラフィックレート制限
		音声トラフィックの最適化
		CAC
スペクトル管理	RRM	リージョンコードの選択
		リージョンコードロック
		20M/40Mチャンネル自動選択
		802.11n 保護
		干渉の検出
		手動で指定された作業チャンネル
		電源設定
		動的レート調整
		DFS
		TPC
		ブラックホールの検出と保護
	ロードバランシング	セッションベースのロードバランシング
		トラフィックベースのロードバランシング
	ワイヤレス	ブラックリストとホワイトリスト
動的ブラックリスト		
ホワイトリスト		
不正なAP		SS IDベースの不正AP検出
		BSSIDベースの不正AP検出
		OUIベースの不正AP検出
		不正AP対策
対策方法		ハイブリッドモードでの非動作チャンネル対策
		アドホックネットワークへの対応
		Windowsブリッジ対策
フレームワーク		仮想セキュリティゾーン
		複数無線のサポート
		独立センサー
		ハイブリッドセンサー
署名		ユーザー定義の署名
デバイス検出		デバイスの検出と分類
		アラーム無視デバイスリスト
		デバイス脅威インデックス
		デバイスの自動分類
		ユーザー定義の分類ルール

項目	機能	仕様
		手動デバイス分類
		802.11n/11acデバイス
		802.11wデバイス
		禁止デバイスリスト
		信頼できるOUI/SSIDリスト
		不正デバイスの検出
		デバイス検出の設定ミス
		全チャンネルスキャン
		ユーザー定義チャンネルスキャン
		802.11nグリーンフィールドAPモード
		暗号化方式の検出
		OUI
	デバイスOUI情報表示	
	攻撃の検出	ゼロディ検出
		既知のDoS攻撃検出
		不明なDoS攻撃の検出
		アソシエーション解除スプーフィング攻撃
		認証解除スプーフィング攻撃
		フラッド攻撃検出
		MITM攻撃検出
		ワイヤレスブリッジ
		チャンネル変更検出
		デバイスエントリ攻撃検出
	スプーフィング攻撃	MACアドレススプーフィング攻撃
	サーベイランス	弱IV検出
		拒否されたクライアントアソシエーション要求の検出
		不正なパケット検出
管理	Syslog	
	MIB	
スペクトル解析		ハイブリッドセンサー
		独立センサー
		Bluetoothデバイス検出
		電子レンジ、コードレス電話、xBox360デバイス、ワイヤレスカメラの識別
BYOD/ゲスト管理	ゲスト管理	Web GUIの最適化
		パッチでのゲストパスワードの生成
		インポート、エクスポート、印刷

項目	機能	仕様
		Eメール
		ユーザーグループベースの特権制御
		期間ベースの会計
		期間ベースのアクセス制限
	BYOD	DHCP指紋識別
		HTTP UA指紋識別
		OUI識別
		識別ポリシー設定
レイヤ2	レイヤー2プロトコル	ARP
		802.1p
		802.1q
		802.1X
		LLDP
		LACP
		ポート集約
		ループバック検出
		ループバックテスト
		ポートミラーリング
	(仮想LAN)	ポートベースVLAN
		SS IDベースVLAN
		ユーザーベースVLAN
IP	IPv4	TCP/UDPv4
		ICMPv4
		NTP
		ACL
		DHCPサーバー
		DHCPリレー
		DHCPスヌーピング
	IPv6	ACL6
		DNS6
		Tracert6
		Telnet6
		FTP IPv6
		TFTP IPv6
		DHCPv6サーバー
		DHCPv6リレー
		SAVI

項目	機能	仕様
		Ping6
ルーティング		スタティックルーティング
		RIP/RIPng
マルチキャスト		MLDスヌーピング
		IGMPスヌーピング
		マルチキャスト最適化(マルチキャストパケットからユニキャストパケットへの変換)
ライセンス		ライセンス
高可用性		APデュアルリンク
		N+1コールドバックアップ
デバイス管理	インターフェイス	SNMP v1/v2/v3
		HTTP/HTTPS
		Webインターフェースからの階層管理
		SSH v2.0
		CLI
		Telnet
		RESTfulインターフェイス
		NETCONF
		Openflow1.3.1
	スクリプト	TCL
		パイソン
		EAA
	その他	構成ファイルの暗号化
		パスワード制御
		AC上のAPファイルのストレージ
		AP工場出荷時のデフォルトに戻す
省電力		Green AP
		スケジュールされた無線シャットダウン
		スケジュールされたSSIDの無効化
		スケジュールされたPoE電源の電源オフ
場所		AeroScoutコントローラAeroscoutプロトコルバージョン6.3
		サードパーティのロケーションプラットフォーム
		信号強度ベースのRSSIロケーション
		RTTロケーション
ワイヤレスプローブ		AP検出
		関連クライアント検出
		関連付けられていないクライアント検出

項目	機能	仕様
ゲートウェイ	VPN	L2TP
		IP Sec VPN
	WAN	複数のWANポートのバックアップ
		複数のWANポートでのポリシーベースルーティング
		WANポートからLANポートへの切り替え
		LANポートからWANポートへの切り替え
	NAT	WANポート経由のPPPoEダイヤル
		NAT、NPAT
		NATのALG
	WLAN 包括的なアプリケーション	ネットワーク解析
RF Ping		
アプリケーション制御		
		ネットワーク品質アナライザ(NQA)
		弱い弱いクライアントのアクセス拒否
		クライアントローミングナビゲーション
		プローブ応答の再送信限界
		パケット送信の公平なスケジューリング
		クライアント再アソシエーションの自動トリガー
		802.11nパケット送信抑制
		リンクステートベースのトラフィックシェーピング
		AP間チャンネル共有調整
		AP間チャンネル再利用調整
		パケットごとの送信電力制御
		パケットごとのポリシーベース送信電力制御
		無線の伝送速度調整アルゴリズム
		弱いRSSIを持つ無線パケットの無視
		無効なマルチキャストパケットバッファリング
		有効なマルチキャストパケットバッファリング
AP LED制御		
点滅状態検出		
非表示ノードの検出		
クライアントトラフィックの高速転送		
アンテナ選択		
無線チップ保護		
階層管理		AC階層
WLANメッシュ		メッシュリンク

項目	機能	仕様
		マルチホップメッシュ
		ゼロ構成の起動
		ポータル

付録B ソフトウェアのアップグレード

この項では、デバイスが正常に動作しているとき、またはデバイスが正常に起動できないときにシステムソフトウェアをアップグレードする方法について説明します。

ソフトウェアタイプ

次のソフトウェアタイプを使用できます。

- **ブートROMイメージ:** 基本セクションと拡張セクションで構成される.binファイル。基本セクションは、システムをブートストラップする最小コードです。拡張セクションでは、ハードウェアの初期化が可能になり、システム管理メニューが提供されます。これらのメニューを使用して、アプリケーション・ソフトウェアおよびスタートアップコンフィギュレーションファイルをロードしたり、デバイスが正しく起動できない場合にファイルを管理したりできます。
- **Comwareイメージ:** 次のイメージサブカテゴリが含まれます。
 - **ブートイメージ:** Linuxオペレーティングシステムカーネルを含む.binファイル。プロセス管理、メモリー管理、ファイルシステム管理および緊急シェルを提供します。
 - **システムイメージ:** デバイス操作に必要な最小機能モジュールと、デバイス管理、インターフェース管理および構成管理などのいくつかの基本機能を含む.binファイル。拡張機能を使用するには、機能パッケージを購入する必要があります。
 - **機能パッケージ:** 一連の高度なソフトウェア機能が含まれています。ユーザーは必要に応じて機能パッケージを購入します。
 - **パッチパッケージ:** デバイスを再起動せずにバグを修正するために、不規則にリリースされたパッチパッケージ。パッチパッケージは新しい機能を追加しません。

ロードされたComwareソフトウェアイメージは「現在のソフトウェアイメージ」と呼ばれます。次の起動時にロードするように指定されたComwareイメージは「起動ソフトウェアイメージ」と呼ばれます。

システムを動作させるには、ブートROMイメージ、ブートイメージおよびシステムイメージが必要です。これらのイメージは、個別にリリースすることも、1つの.ipeパッケージファイルにまとめてリリースすることもできます。ipeファイルを使用すると、システムによってファイルが自動的に解凍され、.binブートイメージおよびシステムイメージがロードされ起動ソフトウェアイメージとして設定します。

制約事項とガイドライン

ACの記憶域が限られているため、.ipeパッケージファイルにすべてのAPイメージが含まれていない可能性があります。ACをアップグレードした後、次の作業を実行して、必要なAPイメージがACにアップロードされていることを確認してください。

1. \apimgディレクトリを入力します。

```
<Sysname> cd apimg
```

2. ディレクトリ内のAPイメージを表示します。

```
<Sysname> dir
```

```
Directory of cfa0:/apimg
 0 -rw-   13894656      Oct  29   2019   14:57:06 wa2600a.ipe
 1 -rw-   14126080      Oct  29   2019   14:57:38 wa3600.ipe
 2 -rw-   18497536      Oct  29   2019   14:57:12 wa4300.ipe
 3 -rw-   14344192      Oct  29   2019   14:59:40 wa4300h.ipe
 4 -rw-   14307328      Oct  29   2019   14:57:22 wa4300s.ipe
 5 -rw-   17732608      Oct  29   2019   14:57:30 wa4600.ipe
```

6	-rw-	21172224	Oct	29	2019	14:59:28	wa5300.ipe
7	-rw-	19125248	Oct	29	2019	14:59:20	wa5600.ipe
8	-rw-	37281792	Oct	29	2019	14:59:48	wa6500.ipe
9	-rw-	45034496	Oct	29	2019	14:58:10	wt1010.ipe
10	-rw-	45242368	Oct	29	2019	14:57:48	wt1020.ipe
11	-rw-	56747008	Oct	29	2019	14:58:34	wt1024x.ipe
12	-rw-	40133632	Oct	29	2019	14:59:00	wt2024u.ipe

4088468 KB total (3120112 KB free)

- 必要なAPイメージがない場合は、公式Webサイト (https://www.h3c.com/support/Support/Resource_Center/Software_Download/Wireless/)にアクセスして、対応するAPイメージをダウンロードし、ディレクトリにアップロードしてください。

アップグレード方法

システムソフトウェアをアップグレードするには、次のいずれかの方法を使用します。

アップグレード方法	備考
	<ul style="list-style-type: none"> アップグレードを完了するには、デバイスをリブートする必要があります。 この方法では、進行中のネットワークサービスを中断できます。
	デバイスが正しく起動できない場合にこの方法を使用します。

アップグレードの準備

システムソフトウェアをアップグレードする前に、次の作業を完了してください。

- 図1に示すようにアップグレード環境をセットアップします。
- デバイスとファイルサーバが互いに到達できるようにルートを設定します。
- ファイルサーバ上でTFTPまたはFTPサーバーを実行します。
- コンソールポート経由でデバイスのCLIにログインします。
- アップグレードファイルをファイルサーバにコピーし、TFTPまたはFTPサーバー上の作業ディレクトリを正しく設定します。
- アップグレードによるネットワークサービスへの影響が最小限であることを確認してください。アップグレード中、デバイスはサービスを提供できません。



イーサネット経由でBootWareイメージをアップグレードするには、次の手順を実行します。

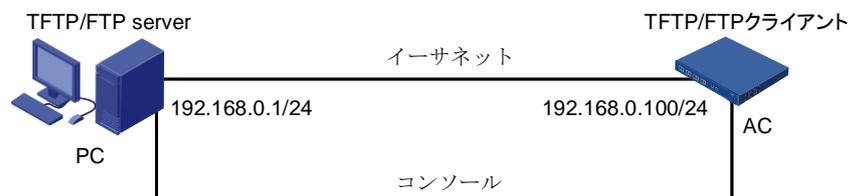
- デバイスに管理イーサネットポートがある場合は、管理イーサネットポートを使用します。
- デバイスに管理イーサネットポートがない場合は、イーサネットポートGE1/0/1を使用します。

表18 デバイス・モデムとストレージメディアの互換性マトリックス

シリーズ	モデル	製品コード	記憶媒体タイプ	記憶媒体名
WX1800H	WX1804H	EWP-WX1804H-PW R-CN	Flash	flash:/
	WX1810H-F	EWP-WX2508H-PW R-LTE	Flash	flash:/

シリーズ	モデル	製品コード	記憶媒体タイプ	記憶媒体名
	WX1820H-F	EWP-WX2510H-PWR	Flash	flash:/
WX2500H	WX2510H	EWP-WX2510H-F-PWR	Flash	flash:/
	WX2510H-F	EWP-WX2540H-F	Flash	flash:/
	WX2540H	EWP-WX2540H	Flash	flash:/
	WX2540H-F	EWP-WX2560H	Flash	flash:/
	WX2560H	EWP-WX3010H	Flash	flash:/
WX3000H	WX3010H-L	EWP-WX3010H-X-PWR	Flash	flash:/
	WX3010H-X	EWP-WX3010H-L-PWR	CFカード	cfa0:/
	WX3024H-L	EWP-WX3024H	Flash	flash:/
WX3500H	WX3508H	EWP-WX3024H-L-PWR	Flash	flash:/
	WX3508H	EWP-WX3024H-F	Flash	flash:/
	WX3510H	EWP-WX3510H	CFカード	cfa0:/
	WX3510H	EWP-WX3510H-F	CFカード	cfa0:/
	WX3520H	EWP-WX3520H	CFカード	cfa0:/
	WX3520H-F	EWP-WX3520H-F	CFカード	cfa0:/
	WX3540H	EWP-WX3540H	CFカード	cfa0:/
	WX3540H-F	EWP-WX3540H-F	CFカード	cfa0:/
WX5500E	WX5510E	EWP-WX5510E	CFカード	cfa0:/
	WX5540E	EWP-WX5540E	CFカード	cfa0:/
WX5500H	WX5540H	EWP-WX5540H	CFカード	cfa0:/
	WX5560H	EWP-WX5560H	CFカード	cfa0:/
	WX5580H	EWP-WX5580H	CFカード	cfa0:/
アクセスコントロールモジュール	EWPXM1MAC0F	LSUM1WCME0	CFカード	cfa0:/
	EWPXM1WCME0	EWPXM1WCME0	CFカード	cfa0:/
	EWPXM2WCMD0F	LSQM1WCMX20	CFカード	cfa0:/
	LSQM1WCMX20	LSUM1WCMX20RT	CFカード	cfa0:/
	LSQM1WCMX40	LSQM1WCMX40	CFカード	cfa0:/
	LSUM1WCME0	LSUM1WCMX40RT	CFカード	cfa0:/
	LSUM1WCMX20RT	EWPXM2WCMD0F	CFカード	cfa0:/
	LSUM1WCMX40RT	EWPXM1MAC0	CFカード	cfa0:/

図1 アップグレード環境のセットアップ



CLIからのアップグレード

このドキュメントでは、手順の説明にH3C WX3520Hを使用しています。

実行コンフィギュレーションの保存とストレージスペースの確認

1. 実行コンフィギュレーションを保存します。

```
<Sysname> save
```

```
The current configuration will be written to the device. Are you sure? [Y/N]:y Please input the file name(*.cfg)[cfa0:/startup.cfg]
```

```
(To leave the existing filename unchanged, press the enter key): Validating file. Please wait...
```

```
Saved the current configuration to mainboard device successfully.
```

```
<Sysname>
```

2. ストレージメディア上のファイルを表示します。システムソフトウェアイメージとコンフィギュレーションファイル名を識別し、CFカードに新しいシステムソフトウェアイメージ用の十分なスペースがあることを確認します。

```
<Sysname> dir
```

```
Directory of cfa0:
```

```
0 drw-- Jan 01 1980 00:00:00diagfile
 1 drw-- Jan 01 1980 00:00:00dpi
 2 -rw-735 Jan 01 1980 00:00:00hostkey
 3 drw-- Jan 01 1980 00:00:00icon
 4 -rw-393 Jun 13 2077 09:08:33ifindex.dat
 5 -rw-0 Jan 01 1980 00:00:00lauth.dat
 6 drw-- Jan 01 1980 00:00:00license
 7 drw-- Jan 01 1980 00:00:00logfile
 8 drw-- Jan 01 1980 00:00:00pki
 9 drw-- Jan 01 1980 00:00:00seclog
10 -rw-591 Jan 01 1980 00:00:00serverkey
11 -rw-9388 Jun 13 2077 09:08:34startup.cfg
12 -rw-137234 Jun 13 2077 09:08:34startup.mdb
13 -rw-309 Jan 01 1980 00:00:00test.py
14 -rw-103904256 Jan 01 1980 00:00:00boot.bin
15 -rw-64708608 Jan 01 1980 00:00:00system.bin
```

```
4088468 KB total (3724872 KB free)
```

```
<Sysname>
```

デバイスへのイメージファイルのダウンロード

デバイスでTFTPまたはFTPコマンドを使用して、TFTPまたはFTPサーバーにアクセスし、ファイルをバックアップまたはダウンロードできます。

TFTPの使用

構成ファイル(wx3520.ipeなど)をファイルサーバーに転送します。

```
<Sysname> tftp 192.168.1.100 get wx3520.ipe Press
```

CTRL+C to abort.

```
  % Total% Received % Xferd Average SpeedTimeTimeTime Current
                                Dload UploadTotalSpentLeft Speed 100 160M 100
160M00816k0 0:03:21 0:03:21 --:807k -----
```

```
<Sysname>
```

FTPの使用

1. FTPクライアントビューから、システムソフトウェアイメージファイル(たとえば、wx3520h.ipe)をデバイス上のCFカードにダウンロードします。

```
<ftp> get wx3520h.ipe
wx3520h.ipe already exists. Overwrite it? [Y/N]:y
227 Entering passive mode (192,168,1,100,5,20)
125 Using existing data connection
226 Closing data connection; File transfer successful. 37691392 bytes
received in 17.7 seconds (2.03 Mbyte/s)
<ftp>
```

2. ユーザービューに戻ります。

```
<ftp> quit
221 Service closing control connection
<Sysname>
```

起動イメージファイルの指定

1. 回目のリブート時に、wx3520h.ipeファイルをファイルとしてwx0h.ipeファイルを指定します。

```
<Sysname> boot-loader file cfa0:/wx3520h.ipe all main Verifying the file
cfa0:/wx3520.ipe on slot 1Done. ....
H3C WX3520H images in IPE:
  boot.bin
  system.bin
This command will set the main startup software images. Continue? [Y/N]:y Add images to slot 1.
Decompressing file boot.bin to cfa0:/boot.binDone. ....
Decompressing file system.bin to cfa0:/system.binDone. ....
Decompression completed.
You are recommended to delete the .ipe file after you set startup software image s for all slots.
Do you want to delete cfa0:/wx3520h.ipe now? [Y/N]:
The images that have passed all examinations will be used as the main startup software images at the next
reboot on slot 1.
<Sysname>
```

2. ファイルがロードされていることを確認します。

```
<Sysname> display boot-loader
Software images on slot 1:
Current software images:
  cfa0:/boot.bin
  cfa0:/system.bin
Main startup software images:
  cfa0:/boot.bin cfa0:/system.bin
Backup startup software images:
  cfa0:/boot_backup.bin
  cfa0:/system_backup.bin
<Sysname>
```

アップグレードを完了するためのデバイスのリブート

1. デバイスを再起動します。

```
<Sysname> reboot
Start to check configuration with next startup configuration file, please waitDONE!
This command will reboot the device. Continue? [Y/N]:y Now rebooting,
please wait...
<Sysname>
System is starting...
```

2. 再起動が完了したら、システムソフトウェアイメージが正しいことを確認します。

```
<Sysname> display version
H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 5208P01
Copyright (c) 2004-2017 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved. H3C WX3520H uptime
is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 37 minutes
Last reboot reason : Power on

Boot image: boot.bin
Boot image version: 7.1.064, Release 5208P01 Compiled
  May 16 2017 16:00:00
System image: cfa0:/system.bin
System image version: 7.1.064, Release 5208P01 Compiled
  May 16 2017 16:00:00

Slot 1
Uptime is 0 week, 1 day, 16 hours, 48 minutes with 1 RMI
XLP 416 1000MHz Processor
4064M bytes DDR3
16M bytes NorFlash Memory
4002M bytes CFCard Memory

Hardware Version is Ver.A
CPLD 1 CPLD Version is 004 Basic
Bootrom Version is 5.03 Extend Bootrom
Version is 5.03
[Subslot 0]H3C WX3520H Hardware Version is Ver.A
```

<Sysname>

BootWareメニューからのアップグレード

実行中のコンフィギュレーションの保存とストレージデバイスのフォーマット

1. 実行中のコンフィギュレーションを保存します。

```
<Sysname> save
```

```
The current configuration will be written to the device. Are you sure? [Y/N]:y Please input the file name(*.cfg)[cfa0:/startup.cfg]
```

```
(To leave the existing filename unchanged, press the enter key): cfa0:/startup.cfg
```

```
exists, overwrite? [Y/N]:y
```

```
Validating file. Please wait...
```

```
Saved the current configuration to mainboard device successfully.
```

2. 設定ファイル(startup.cfgなど)をファイルサーバに転送します。この例では、TFTPサーバーを使用しています。

```
<Sysname> tftp 100.1.1.13 put startup.cfg
```

```
File will be transferred in binary mode
```

```
Sending file to remote TFTP server. Please wait... \ TFTP: 1914 bytes sent in 0 second(s).
```

```
File uploaded successfully.
```

3. デバイスを再起動します。
4. プロンプトでCtrl+Bを押して、Comware V5EXTEND-BOOTWAREメニューにアクセスします。

```
System is starting...
```

```
Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENU
```

```
Press Ctrl+T to start heavy memory test Booting Normal
```

```
Extended BootWare
```

```
The Extended BootWare is self-decompressingDone. ....
```

```
*****
```

```
**
```

```
*H3C WX3520H BootWare, Version 5.03*
```

```
**
```

```
***** Copyright (c) 2004-2017 New H3C
```

```
Technologies Co., Ltd.
```

```
Compiled Date: May 16 2017
```

```
CPU Type: XLP416
```

```
CPU Clock Speed: 1000MHz Memory
```

```
Type: DDR3 SDRAM
```

```
Memory Size: 4096MB
```

```
Memory Speed: 1333MHz
```

```
BootWare Size: 768KB
```

```
Flash Size: 16MB
```

cfa0 Size: 4002MB
 CPLD1 Version: 004
 CPLD2 Version: 000
 PCB Version: Ver.A

BootWare Validating...
 Press Ctrl+B to access EXTENDED-BOOTWARE MENU...

Password recovery capability is enabled. Note: The
 current operating device is cfa0
 Enter < Storage Device Operation > to select device.

```

=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Restore to Factory Default Configuration|
|<6> Skip Current System Configuration|
|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
|<9> Storage Device Operation|
|<0> Reboot|
=====
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:
Display Copyright Enter your
choice(0-9):
  
```

表19 EXTEND-BOOTWAREメニューオプション

項目	説明
<1>ブートシステム	システムソフトウェアイメージを起動します。
<2>シリアルサブメニューの入力	Serialサブメニューにアクセスして、コンソールポート経由でシステムソフトウェアをアップグレードするか、シリアルポート設定を変更します。
<3>イーサネットサブメニューの入力	Ethernetポートを介してシステムソフトウェアをアップグレードしたり、Ethernet設定を変更したりするには、Ethernetサブメニュー(表20を参照)にアクセスします。
<4>ファイル制御	File Controlサブメニュー(表22を参照)にアクセスして、デバイスに保存されているファイルを取得および管理します。
<5>出荷時のデフォルト設定に戻す	次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除し、工場出荷時のデフォルト設定をロードします。
<6>現在のシステム構成をスキップ	工場出荷時のデフォルト設定でデバイスを起動します。これは1回限りの操作であり、次の

項目	説明
	このオプションは、コンソールのログインパスワードを忘れた場合に使用します。
<7>BootWare操作メニュー	BootWareのバックアップ、復元またはアップグレードのためのBootWare操作メニューにアクセスします。システムソフトウェアイメージをアップグレードすると、BootWareが自動的にアップグレードされます。H3Cでは、BootWareを個別にアップグレードすることはお勧めしません。このドキュメントではBootWare操作メニューの使用については説明しません。
<8>コンソールログインのためのスキップ認証	コンソールポートのすべての認証スキームをクリアします。
<9>ストレージデバイスの動作	Storage Device Operationメニューにアクセスして、ストレージデバイスを管理します。このオプションの使用方法については、この章では説明しません。
<0>再起動	デバイスを再起動します。

TFTP/FTPを使用したイーサネットポート経由のソフトウェアのアップグレード

デバイスは、ソフトウェアイメージファイルをダウンロードするために、管理イーサネットポート、WANポート、LAN1ポートの順にインターフェイスを選択します。

TFTP/FTPを使用してイーサネットポート経由でソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。

- EXTEND-BOOTWAREメニューで、3と入力してEthernetサブメニューにアクセスします。

```

=====<Enter Ethernet SubMenu>=====
[Note:the operating device is cfa0]
|<1> Download Image Program To SDRAM And Run|
|<2> Update Main Image File|
|<3> Update Backup Image File|
|<4> Download Files(*.*)|
|<5> Modify Ethernet Parameter|
|<0> Exit To Main Menu|
|<Ensure The Parameter Be Modified Before Downloading!>|
=====
Enter your choice(0-5):

```

表20 イーサネットサブメニューオプション

項目	説明
<1>イメージプログラムをSDRAMにダウンロードして実行	システムソフトウェアイメージをSDRAMにダウンロードし、イメージを実行します。
<2>メインイメージファイルを更新	メインシステムソフトウェアイメージをアップグレードします。
<3>バックアップ・イメージ・ファイルの更新	バックアップシステムソフトウェアイメージをアップグレードします。
<4>ファイルのダウンロード(*.*)	システムソフトウェアイメージをフラッシュカードまたはCFカードにダウンロードします。
<5>イーサネットパラメータの変更	ネットワーク設定を変更します。

<0>メインメニューに戻る

EXTEND-BOOTWAREメニューに戻る

2. ネットワーク設定を構成するには、5を入力します。

```
=====<ETHERNET PARAMETER SET>=====
[Note: '.' = Clear field.]
['-' = Go to previous field.]
[Ctrl+D = Quit.]
=====

Protocol (FTP or TFTP) :ftp
Load File Name:wx3520h.ipe
:
Target File Name:wx3520h.ipe
:
Server IP Address:192.168.1.1 Local IP
Address:192.168.1.100 Subnet
Mask:255.255.255.0 Gateway IP Address:0.0.0.0

FTP User Name:user001 FTP User
Password:*****
```

表21 ネットワーク・パラメータ・フィールドとショートカット・キー

フィールド	説明
'.' = クリアフィールド	フィールドの設定をクリアするには、ドット(.)を押してから[Enter]を押します。
'-' = 前のフィールドに移動	ハイフン(-)を押してからEnterキーを押すと、前のフィールドに戻ります。
Ctrl+D = 終了	Ctrl+Dを押して、Ethernet Parameter Setメニューを終了します。
プロトコル(FTPまたはTFTP)	ファイル転送プロトコルをFTPまたはTFTPに設定します。
ファイル名をロード	ダウンロードするファイルの名前を設定します。
ターゲットファイル名	デバイスにファイルを保存するためのファイル名を設定します。デフォルトでは、ターゲットファイル名はソースファイル名と同じです。
サーバーのIPアドレス	FTPまたはTFTPサーバーのIPアドレスを設定します。マスクを設定する必要がある場合は、コロン(:)を使用してマスク長とIPアドレスを区切ります。たとえば、100.1.1.13:24のようになります。
ローカルIPアドレス	デバイスのIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	ローカルIPアドレスのサブネットマスク。
ゲートウェイIPアドレス	デバイスがサーバーとは異なるネットワーク上にある場合は、ゲートウェイIPアドレスを設定します。
FTPユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を設定します。このユーザー名は、FTPサーバーで構成されているユーザー名と同じである必要があります。このフィールドはTFTPでは使用できません。
FTPユーザーパスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードを設定します。このパスワードはFTPサーバーに設定されているものと同じである必要があります。このフィールドはTFTPでは使用できません。

3. システムソフトウェアイメージをアップグレードするには、Ethernetサブメニューのオプション2または3を選択します。たとえば、メインシステムソフトウェアイメージをアップグレードするには、2と入力します。

```

Loading.....
.....
.....Done.
168620032 bytes downloaded!
The file is exist,will you overwrite it? [Y/N]Y Image file boot.bin
is self-decompressing...
Saving file cfa0:/boot.binDone. ....
Image file system.bin is self-decompressing...
Saving file cfa0:/system.binDone.....

```

```

=====<Enter Ethernet SubMenu>=====
|Note:the operating device is cfa0
|<1> Download Image Program To SDRAM And Run
|<2> Update Main Image File
|<3> Update Backup Image File
|<4> Download Files(*.*)
|<5> Modify Ethernet Parameter
|<0> Exit To Main Menu
|<Ensure The Parameter Be Modified Before Downloading!>
|
=====

```

4. EXTEND-BOOTWAREメニューに戻るには、0を入力します。

Enter your choice(0-5): 0

```

=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Modify BootWare Password|
|<6> Skip Current System Configuration|
|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
|<9> Storage Device Operation|
|<0> Reboot|
=====

```

```

Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:
Display Copyright Enter your
choice(0-9):

```

5. 1を入力してシステムをブートします。

```

Enter your choice(0-9): 1 Loading the
main image files...
Loading file cfa0:/system.bin.....

```

Done.
Loading file cfa0:/boot.binDone.

Image file cfa0:/boot.bin is self-decompressing.....
.....Done.
System image is starting...
Press Ctrl+I to enter inter-initiate mode... 0 s Cryptographic Algorithms Known-
Answer Tests are running ...

CPU 0 of slot 1:
Starting Known-Answer tests in the user space. Known-
answer test for SHA1 passed.
Known-answer test for SHA224 passed. Known-answer
test for SHA256 passed. Known-answer test for
SHA384 passed. Known-answer test for SHA512
passed. Known-answer test for HMAC-SHA1 passed.
Known-answer test for HMAC-SHA224 passed.
Known-answer test for HMAC-SHA256 passed.
Known-answer test for HMAC-SHA384 passed.
Known-answer test for HMAC-SHA512 passed.
Known-answer test for AES passed.
Known-answer test for RSA(signature/verification) passed. Known-answer
test for RSA(encrypt/decrypt) passed.
Known-answer test for DSA(signature/verification) passed. Known-answer
test for random number generator passed.
Known-Answer tests in the user space passed. Starting
Known-Answer tests in the kernel.
Known-answer test for AES passed. Known-answer
test for HMAC-SHA1 passed. Known-answer test for
SHA1 passed.
Known-answer test for GCM passed. Known-
answer test for GMAC passed.
Known-answer test for random number generator passed. Known-
Answer tests in the kernel passed.
Cryptographic Algorithms Known-Answer Tests passed. Line con0 is
available.

Press ENTER to get started.

BootWareメニューからファイルを管理する

システムソフトウェアイメージのタイプを変更したり、ファイルを取り出したり、ファイルを削除したりするには、EXTEND-BOOTWAREメニューに4と入力します。

File controlサブメニューが表示されます。

=====<File CONTROL>=====

|Note:the operating device is cfa0|

|<1> Display All File(s)|

```

|<2> Set Image File type|
|<3> Set Bin File type|
|<4> Set Configuration File type|
|<5> Delete File|
|<0> Exit To Main Menu|

```

```

=====
Enter your choice(0-5):

```

表22 File Controlサブメニュー・オプション

項目	説明
<1>すべてのファイルを表示	すべてのファイルを表示します。
<2>イメージファイルタイプを設定	システムソフトウェアイメージ(.ipe)のタイプを変更します。
<3>Set Bin Fileタイプ	システムソフトウェアイメージ(.bin)のタイプを変更します。
<4>Set Configuration Fileタイプ	構成ファイルのタイプを変更します。
<5>ファイルの削除	ファイルを削除します。
<0>メインメニューに戻る	EXTEND-BOOTWAREメニューに戻る

すべてのファイルを表示する

すべてのファイルを表示するには、ファイルコントロールサブメニューに1と入力します。

Display all file(s) in cfa0:

'M' = MAIN'B' = BACKUP'N/A' = NOT ASSIGNED

```

=====
|NO.  Size(B)   Time                Type   Name                                     |
|1    2048     Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/logfile/logfile1.log            |
|2    1027     Jan/01/1980 00:00:00 N/A   cfa0:/license/210235a1jnc14b9000|
|31.did                                     |
|3    2406     Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/pki/https-server.p12           |
|4    393      Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/ifindex.dat                     |
|5    9388     Jan/01/1980   00:00:00 M     cfa0:/startup.cfg                     |
|6   137234   Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/startup.mdb                     |
|7    309      Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/test.py                          |
|8    735      Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/hostkey                          |
|9    591      Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/serverkey                        |
|10   0        Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/lauth.dat                       |
|11  87160     Jan/01/1980 00:00:00 N/A   cfa0:/dpi/apr/predefined/apr_sig|
|pack_curr.dat                             |
|12 168620032  Jan/01/1980   00:00:00 N/A   cfa0:/wx3520h.ipe                       |
|13 103904256  Dec/15/2011   09:00:00 M     cfa0:/boot. bin                         |
|14 64708608   Dec/15/2011   09:00:00 M     cfa0:/system.bin                       |

```

システムソフトウェアイメージのタイプの変更

システムソフトウェアイメージファイル属性には、メイン(M)とバックアップ(B)があります。デバイスには、メ

インイメージとバックアップイメージをそれぞれ1つずつ格納できます。システムソフトウェアイメージには、M属性とB属性を任意に組み合わせることができます。割り当てるファイル属性がイメージに割り当てられている場合は、その割り当てによってそのイメージから属性が削除されます。イメージにその属性のみが含まれている場合は、そのイメージには「N/A」とマークされます。

システムソフトウェアイメージのタイプを変更するには:

1. File Controlサブメニューに2と入力します。

```
'M' = MAIN'B' = BACKUP'N/A' = NOT ASSIGNED
```

```
=====
|NO. Size(B)TimeTypeName|
```

```
|1 168620032 Jan/01/1980 00:00:00 N/A cfa0:/wx3520h.ipe |
```

```
|0 Exit |
```

```
=====
Enter file No.:1
```

2. 作業中のファイルの番号を入力し、Enterを押します。

Modify the file attribute:

```
=====
|<1> +Main|
```

```
<2>+バックアップ
```

```
|<0> Exit|
```

```
=====
Enter your choice(0-2):
```

3. ファイルのファイル属性を追加または削除するには、1～2の数値を入力します。

This operation may take several minutes. Please wait....

The file is exist,will you overwrite it? [Y/N]Y Image file boot.bin

is self-decompressing...

Saving file cfa0:/boot.binDone.

イメージファイルシステム.binが自己解凍しています.

Saving file cfa0:/system.binDone.

Set the file attribute success!

ファイルの削除

記憶域が不足している場合は、不要なファイルを削除して記憶域を解放できます。ファイルを削除する手順は、次のとおりです。

1. ファイルコントロール(File Control)サブメニューに5と入力します。

cfa0のファイルの削除:

```
'M' = MAIN'B' = BACKUP'N/A' = NOT ASSIGNED
```

```
=====
|NO. Size(B) Time Type Name |
|1 2048 1980年1月/01 00:00:00 N/A cfa0:/logfile/logfile1.log |
```

```
|21027Jan/01/1980 00:00:00 N/Acfa0:/license/210235a1jnc14b9000|
```

```
|31.did |
```

```
|32406 Jan/01/1980 00:00:00 N/A cfa0:/pki/https-server.p12 |
```

```
|4393 Jan/01/1980 00:00:00 N/A cfa0:/ifindex.dat |
```

```
|59388 Jan/01/1980 00:00:00 M cfa0:/startup.cfg |
```

```
|6137234 Jan/01/1980 00:00:00 N/A cfa0:/startup.mdb |
```

7309	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/test.py	
8 735	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/hostkey	
9 591	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/serverkey	
10 0	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/lauth.dat	
11 87160	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/dpi/apr/predefined/apr_sig	
pack_curr.dat					
12 168620032	Jan/01/1980	00:00:00	N/A	cfa0:/wx3520h.ipe	
13 103904256	Dec/15/2011	09:00:00	M	cfa0:/boot. bin	
14 64708608	Dec/15/2011	09:00:00	M	cfa0:/system.bin	
0Exit					

=====

Enter file No.:

2. 削除するファイルの番号を入力します。
3. 次のプロンプトが表示されたら、Yと入力します。

The file you selected is cfa0:/boot.bin,Delete it? [Y/N]Y

Deleting...Done.

Xmodemを使用したコンソールポート経由の BootWareのアップグレード

コマンド出力情報はデバイスモデルによって異なります。

Xmodemを使用してコンソールポート経由でBootWareをアップグレードするには:

1. デバイスの電源を入れます。
2. Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENUと表示された直後にCtrl+Dを押します。
システムを起動しています。
Ctrl+Dキーを押して[BASIC-BOOTWARE MENU]にアクセスします。

```
=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 0.06) >=====
|<1> Modify Serial Interface Parameter|
|<2> Update Extended BootWare|
|<3> Update Full BootWare|
|<4> Boot Extended BootWare|
|<5> Boot Backup Extended BootWare|
|<0> Reboot|
```

```
=====
Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU
```

```
Ctrl+A: Enter Command Line
```

```
Ctrl+C: Display Copyright Enter
```

```
your choice(0-5): 1
```

3. コンソールポートのボーレートを設定するメニューにアクセスするには、BASIC-BOOTWAREメニューに1を入力します。

```
=====<BAUDRATE SET>=====
|Note: "*" indicates the current baudrate|
|Change The HyperTerminal's Baudrate Accordingly|
-----
|<1> 9600(Default)*|
|<2> 19200|
|<3> 38400|
|<4> 57600|
|<5> 115200|
|<0> Exit|
```

```
=====
Enter your choice(0-5): 0
```

4.

❗ **重要:**

- デフォルト以外のボーレート値を使用する場合は、設定端末に再接続し、そのボーレートをBootWareメニューで選択したボーレートと同じ値に変更する必要があります。
- ボーレートの変更は1回限りの操作です。ボーレートは再起動時にデフォルト(9600bps)に復元されます。再起動後にデバイスとのコンソールセッションをセットアップするには設定端末を9600bpsに戻します。

この例では、0と入力します。デフォルトのボーレートが選択された状態でBASIC-BOOTWAREメニューに戻ります。

```

=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 0.06) >=====
|<1> Modify Serial Interface Parameter|
<2>Update Extended BootWare
|<3> Update Full BootWare|
|<4> Boot Extended BootWare|
|<5> Boot Backup Extended BootWare|
|<0> Reboot|
=====
Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU
Ctrl+A: Enter Command Line
Ctrl+C: Display Copyright Enter
your choice(0-5):

```

表23 BASIC-BOOTWAREメニューオプション

オプション	タスク
<1>シリアルインターフェイスパラメータの変更	コンソールポートのボーレートを変更します。 ソフトウェアアップグレードのためにコンソールポートからイメージをダウンロードする前に、次の作業を実行します。
<2>拡張BootWareの更新	拡張BootWareセグメントのアップグレード
<3>フルBootWare更新	基本セグメントと拡張セグメントを含むBootWare全体をアップグレードします。
<4>ブート拡張BootWare	プライマリ拡張BootWareセグメントを実行します。
<5>ブートバックアップによるBootWareの拡張	バックアップ拡張BootWareセグメントを実行します。
<0>再起動	デバイスを再起動します。

5. BASIC-BOOTWAREメニューに3と入力し、BootWare全体をアップグレードします。
Please Start To Transfer File, Press <Ctrl+C> To Exit.
Waiting ...CCCCCCCCCC
6. 端末を開き、メニューバーでXmodemを選択し、アップグレードするBootWareイメージバージョンを選択します。
選択したボーレートによっては、Xmodemファイル転送が遅くなる場合があります。
7. ファイル転送が完了したら、Yと入力してBootWareをアップグレードします。xmodem転送を開始しています。キャンセルするにはCtrl+Cを押してください。34368_v1.06.btwを転送しています。
100%644 KB0 KB/s 00:12:480 Errors

Download successfully! 659456
bytes downloaded!

```
Updating Basic BootWare? [Y/N]Y
Updating Basic BootWareDone. ....
Updating Extended BootWare? [Y/N]Y Updating
Extended BootWareDone. ....
```

```
=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 0.06) >=====
```

```
|<1> Modify Serial Interface Parameter|
|<2> Update Extended BootWare|
<3> Update Full BootWare
|<4> Boot Extended BootWare|
|<5> Boot Backup Extended BootWare|
|<0> Reboot|
```

```
=====
Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU
```

```
Ctrl+A: Enter Command Line
```

```
Ctrl+C: Display Copyright Enter
```

```
your choice(0-5): 0
```

8. BASIC-BOOTWAREメニューに0にと入力して、新しいBootWare用にデバイスをリブートします。新しいBootWareバージョンに関する情報が表示されます。

ソフトウェアアップグレード障害の処理

ソフトウェアアップグレードが失敗した場合、システムは古いソフトウェアバージョンを実行します。ソフトウェアの失敗を処理する手順は、次のとおりです。

1. 物理ポートの接続不良または接続不良をチェックします。
2. ファイル転送にコンソールポートを使用している場合は、HyperTerminalの設定(ボーレートとデータビットを含む)で、誤った設定がないかどうかを確認してください。
3. ファイル転送設定を確認します。
 - XMODEMを使用する場合は、コンソールポートと同じボーレートを端末に設定する必要があります。
 - TFTPを使用する場合は、TFTPサーバーに設定されているものと同じサーバーIPアドレス、ファイル名、および作業ディレクトリを入力する必要があります。
 - FTPを使用する場合は、FTPサーバーに設定されているものと同じFTPサーバーのIPアドレス、ソースファイル名、作業ディレクトリ、およびFTPユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
4. FTPまたはTFTPサーバーの設定が正しくないかどうかを確認します。
5. ストレージデバイスにアップグレードファイル用の十分なスペースがあることを確認してください。
6. 「ファイルに問題があります」というメッセージが表示された場合は、ファイルの破損を確認してください。

付録C コンソールログインパスワード損出の処理

パスワード回復機能の無効化

パスワード回復機能は、デバイス設定へのコンソールユーザアクセスとBootWareメニューからのSDRAMを制御します。

パスワード回復機能がイネーブルの場合、コンソールユーザーは認証なしでデバイスコンフィギュレーションにアクセスして、新しいパスワードを設定できます。

パスワード回復機能が無効になっている場合、コンソールユーザーは新しいパスワードを設定する前に工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻すと、次のスタートアップコンフィギュレーションファイルが削除されます。

システムセキュリティを強化するには、パスワード回復機能を無効にします。

表24に、パスワード回復機能の設定によって可用性が変化するオプションを要約します。

表24 BootWareオプションとパスワード回復機能の互換性マトリックス

BootWareメニューオプション	パスワードリカバリ有効	パスワードリカバリ無効	実行可能なタスク
イメージプログラムをSDRAMにダウンロードして実行	Yes	いいえ	ComwareソフトウェアイメージをSDRAMにロードして実行します。
コンソールログインの認証をスキップ	Yes	いいえ	認証なしでコンソールログインを有効にします。
現在のシステム構成をスキップ	Yes	いいえ	次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除せずに、工場出荷時のデフォルト設定をロードします。
出荷時のデフォルト設定に戻す	いいえ	Yes	次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除し、工場出荷時のデフォルト設定をロードします。

パスワード回復機能を無効にするには:

ステップ	コマンド	備考
1. システムビューに入ります。	<code>system-view</code>	該当なし
2. パスワード回復機能を無効にします。	<code>undo password-recovery enable</code>	デフォルトでは、パスワード回復機能はイネーブルです。

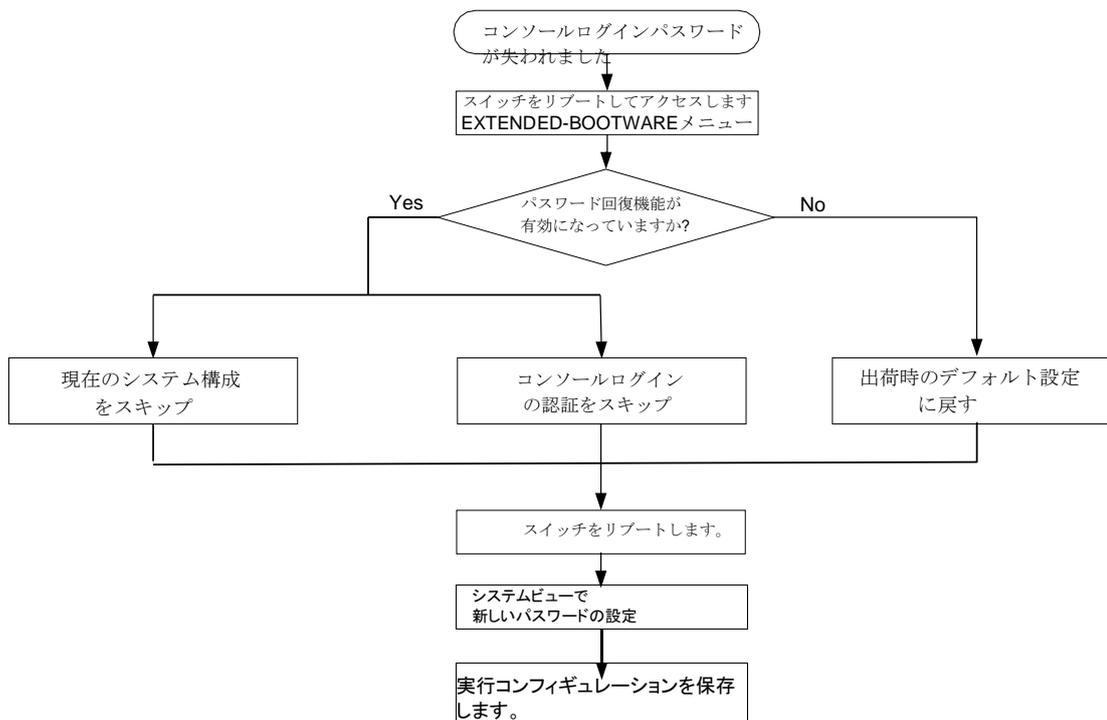
パスワード回復機能が無効になっている場合は、デバイスソフトウェアをBootWareメニュー機能をサポートしていないバージョンにダウングレードすることはできません。CLIでダウングレードすることはできますが、設定されたBootWareメニューパスワードは再び有効になります。

コンソールログインパスワード損失の処理



コンソールログインパスワードの損失を処理すると、サービスが停止します。

コンソールログインパスワード・ロスの処理方法は、パスワードリカバリー機能の設定によって異なります(図2を参照)。



パスワード回復機能設定の確認

1. デバイスを再起動します。

System is starting...

Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENU

Press Ctrl+T to start heavy memory test Booting Normal

Extended BootWare.....

The Extended BootWare is self-decompressingDone.

**

H3C WX3520H BootWare, Version 5.03

**

***** Copyright (c) 2004-2017 New H3C

Technologies Co., Ltd.

Compiled Date: May 16 2017

CPU Type: XLP416

CPU Clock Speed: 1000MHz Memory
Type: DDR3 SDRAM
Memory Size: 4096MB
Memory Speed: 1333MHz
BootWare Size: 768KB
Flash Size: 16MB
cfa0 Size: 4002MB
CPLD1 Version: 004
CPLD2 Version: 000
PCB Version: Ver.A

BootWare Validating...

Ctrl+B[B]を押して拡張BOOTWAREメニューにアクセスします。

2. Press Ctrl+B to access EXTENDED-BOOTWARE MENU.というメッセージが表示されてから3秒以内にCtrl+Bを押す。
3. EXTEND-BOOTWAREメニューの前に表示されるパスワード回復機能設定情報を読み込みます。

Password recovery capability is enabled. Note: The current operating device is cfa0
Enter < Storage Device Operation > to select device.

```
=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Restore to Factory Default Configuration|
|<6> Skip Current System Configuration|
|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
|<9> Storage Device Operation|
|<0> Reboot|
=====
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:
Display Copyright Enter your
choice(0-9):
```

Skip Current System Configurationオプションの使用

1. デバイスを再起動してEXTEND-BOOTWAREメニューにアクセスし、6と入力します。

Password recovery capability is enabled. Note: The current operating device is cfa0
Enter < Storage Device Operation > to select device.

```
=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
```

```
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Restore to Factory Default Configuration|
|<6> Skip Current System Configuration|
|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
<9>ストレージデバイスの動作
|<0> Reboot|
```

```
=====  
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU  
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:  
Display Copyright Enter your  
choice(0-9): 6
```

設定スキップフラグが正常に設定されると、次のメッセージが表示されます。

```
Flag Set Success.
```

- EXTEND-BOOTWAREメニューが再度表示されたら、1を入力してデバイスをリブートします。
デバイスは、次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除せずに、工場出荷時のデフォルト設定で起動します。
- 次のスタートアップコンフィギュレーションファイルのコンフィギュレーションを使用するには、システムビューでファイルをロードします。

```
<Sysname> system-view  
[Sysname] configuration replace file cfa0:/startup.cfg  
Current configuration will be lost, save current configuration? [Y/N]:n Info: Now replacing the  
current configuration. Please wait...  
Info: Succeeded in replacing current configuration with the file startup.cfg.
```

- 新しいコンソールログイン認証モードと新しいコンソールログインパスワードを設定します。
次の例では、コンソールログイン認証モードはpassword、認証パスワードは123456です。set authentication passwordコマンドにsimpleキーワードまたはcipherキーワードを指定した場合でも、セキュリティ上の理由から、パスワードは常にciphertextに保存されます。

```
<Sysname> system-view  
[Sysname] line console 0  
[Sysname-line-console0] authentication-mode password  
[Sysname-line-console0] set authentication password simple 123456
```

注:

別個のコンソールポートを持つデバイスでline console0コマンドを使用します。

- リブート後に設定を有効にするには、実行コンフィギュレーションを次のスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

```
[Sysname-line-console0] save
```

Skip Authentication for Console Loginオプションの使用

- デバイスを再起動してEXTEND-BOOTWAREメニューにアクセスし、8と入力します。

```
Password recovery capability is enabled. Note: The  
current operating device is cfa0  
Enter < Storage Device Operation > to select device.
```

```

===== <EXTENDED-BOOTWARE MENU> =====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Restore to Factory Default Configuration|
|<6> Skip Current System Configuration|
|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
|<9> Storage Device Operation|

|<0> Reboot|

=====
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:
Display Copyright Enter your
choice(0-9): 8

```

デバイスは、メインのnext-startupコンフィギュレーションファイルからconsole login authenticationコンフィギュレーションコマンドを削除します。操作が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Clear Image Password Success!
```

2. EXTEND-BOOTWAREメニューが再度表示されたら、1を入力してデバイスをリブートします。デバイスはメインの次のスタートアップコンフィギュレーションファイルで起動します。
3. コンソールログイン認証モードと新しいコンソールログインパスワードを構成します。「新規コンソールログイン認証モードおよび新規コンソールログインパスワードの構成」を参照してください。
4. リブート後に設定を有効にするには、実行コンフィギュレーションを次のスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

```
[Sysname-line-console0] save
```

Restore to Factory Default Configurationオプションの使用

△注意

Restore to Factory Default Configurationオプションを使用すると、メインとバックアップの両方が削除されます。

Restore to Factory Default Configurationオプションを使用するには:

1. デバイスを再起動してEXTEND-BOOTWAREメニューにアクセスし、5と入力します。

```

Password recovery capability is enabled.. Note: The
current operating device is cfa0
Enter < Storage Device Operation > to select device.

```

```

===== <EXTENDED-BOOTWARE MENU> =====
|<1> Boot System|
|<2> Enter Serial SubMenu|
|<3> Enter Ethernet SubMenu|
|<4> File Control|
|<5> Restore to Factory Default Configuration|
|<6> Skip Current System Configuration|

```

|<7> BootWare Operation Menu|
|<8> Skip Authentication for Console Login|
|<9> Storage Device Operation|
|<0> Reboot|

=====
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
Ctrl+F: Format File System Ctrl+C:
Display Copyright Enter your
choice(0-9): 5

2. 確認のプロンプトで、Yと入力します。

デバイスはメインおよびバックアップの次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除し、工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

Because the password recovery capability is disabled, this operation can cause the configuration files to be deleted, and the system will start up with factory defaults. Are you sure to continue?[Y/N]Y
Setting...Done.

3. EXTEND-BOOTWAREメニューが再度表示されたら、1を入力してデバイスをリブートします。デバイスは出荷時のデフォルト設定で起動します。

4. 新しいコンソールログイン認証モードおよび新規コンソールログインパスワードを構成します。「新規コンソールログイン認証モードおよび新規コンソールログインパスワードの構成」を参照してください。

5. リブート後に設定を有効にするには、実行コンフィギュレーションを次のスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

[Sysname] save